目次

1. 概要 7
1.1. 最小システム要件 8
1.1.1. Windows をご使用の方 8
1.1.2. Mac をご使用の方 8
1.1.3. Linux をご使用の方 8
1.2. パッケージ内容 9
1.3. ハード ディスク熱管理 10
1.4. 製品の外観 11
1.4.1. 正面図 11
1.4.2. 背面図 11
1.4.3. LED の動態 12

2. ネットワークへの接続 13
2.1. ステップ 1：電源の接続 14
2.2. ステップ 2：Ethernet ケーブルの接続 15
2.3. ステップ 3：**LaCie Network Assistant** を使用して接続する 16
2.4. ステップ 4：セットアップ ウィザードを実行する 18
2.5. 電源ボタンの機能 19
2.6. 固定 IP アドレスを割り当てる 20

3. ファイルのアクセスと転送 21
3.1. デフォルトの共有について 21
3.2. LaCie Network Assistant を使用して共有にアクセスする 22
3.2.1. ユーザーの切り替え 24
3.2.2. 共有のマップ 25
3.3. ファイル ブラウザを使用しての共有へのアクセス 26
3.3.1. File Browser (ファイル ブラウザ) について 26
3.4. USB を経由して共有にアクセスする 27
3.4.1. ステップ 1：USB ケーブルの接続 28
3.4.2. ステップ 2：ドライブに電源を入れる 29
3.4.3. USB ケーブルの接続解除 30
3.5. インターネットを経由して共有にアクセスする 31
3.6. FTP を経由した共有へのアクセス 32
3.7. マルチメディア サーバー 33
3.8. iTunes Music Server 34

4. LaCie 2big Network 2 の管理 35
4.1. Dashboard:Accessing (アクセス) 36
4.2. Dashboard:Welcome Page (ウェルカム ページ) 37
4.3. Dashboard:Navigation (ナビゲーション) 37
4.4. Dashboard:Logging Out (ログアウト) 37

■ ご注意 ■

日本市場でのLaCie商品販売はエレコム株式会社が行っております。
LaCie製品は海外でも幅広く販売されており、LaCie社が管理・運営するグローバル
サイト、Webリンク先の情報、商品、ソフトウェア、サービス等は、日本市場でお取り
扱いの無い、またはサポート対象外のものも含まれます。あらかじめご了承願います。

4.5. Dashboard:再起動/シャットダウン 37
4.6. Dashboard:General Settings (一般設定) 38
4.6.1. Active Directory 39
4.7. Dashboard:Users (ユーザー) 40
4.7.1. Adding a New User (新規ユーザーの追加) 40
4.7.2. ユーザーの削除 41
4.7.3. Editing a User (ユーザーの編集) 41
4.8. Dashboard:Groups (グループ) 42
4.8.1. 新しいグループの追加 42
4.8.2. グループの編集 42
4.8.3. グループの削除 43
4.8.4. グループへのユーザーの追加/グループからのユーザーの削除 43
4.9. Dashboard:Shares (共有) 44
4.9.1. 新しい共有の追加 44
4.9.2. 共有の変更 44
4.9.3. 共有の削除 44
4.9.4. ユーザー/グループに対するアクセス権の設定/変更 45
4.9.5. アクセス権について 45
4.9.6. 共有レベルのアクセス プロトコルの指定 46
4.10. Dashboard:ネットワーク 47
4.10.1. 標準設定 47
4.10.2. 詳細設定 48
4.11. Dashboard:ドライブの情報 49
4.11.1. 2big Network 2 のフォーマット 49
4.11.2. Modifying the USB Share Capacity (USBShare の容量変更) 50
4.12. Dashboard:エコ管理 51
4.12.1. UPS 管理 52
4.12.2. Wake on LAN 53
4.13. Dashboard:Support (サポート) 54
4.13.1. Email Notification Events (eメール通知出来事) 55
4.14. Dashboard:Download (ダウンロード) 56
4.14.1. Download Page Settings (ページ設定のダウンロード) 56
4.15. Dashboard:Copy (コピー) 57
4.15.1. Creating a Backup Job (バックアップ ジョブの作成) 57
4.16. Dashboard:External Ports (外部ポート) 58
4.16.1. 外付けハード ドライブの接続 59
4.17. Dashboard:RAID 60
4.17.1. RAID モードの変更 60
4.17.2. RAID モードについて 61
4.17.3. 新しいディスクのインストール 62
4.18. 製品ソフトウェアのアップデート 63
4.18.1. 方法 1: Auto-Update (自動アップデート) 63
4.18.2. 方法 2: LaCie Network Assistant Software を使用したアップデート 64
4.19. 工場出荷時の設定にリセット 65

5. 技術情報 66
5.1. データ転送の最適化 66

6. トラブルシューティング 67
6.1. システム ログ 67
6.2. マニュアルの更新 67
6.3. ネットワーク接続のトラブルシューティング 68
6.4. USB 接続のトラブルシューティング 70
6.4.1. Mac をご使用の方 70
6.4.2. Windows をご使用の方 73

7. カスタマ サポートへのお問い合わせ 75
7.1. LaCie テクニカル サポートの連絡先 76

8. 保証について 79

著作権

Copyright © 2010 LaCie.All rights reserved.電子、機械、コピー、記録など、様式や手段の如何を問わず、本書のいかなる部分も当社の書面による事前の承諾なしに複製したり読み出しシステムに保存したり、伝送を行うことを禁じます。

ライセンスおよび無料ソフトウェア

LaCie 2big Network 2 には、 GPL、AFL、 Apache、 Apple、 BSD、GNU LGPL、 MIT、 OpenLDAP、OpenSSL、 PHP、 Python および Creative Common によってライセンスを授与された、 著作権のあるソフトウェアが付属しています。 また、 以下の LaCie ウェブサイトからソース コードがダウンロード可能な無料ソフトウェアも付属しています。www.lacie.jp/support/

© 2007-2008, Thomas BERNARD.
© 2006 Allan Saddi allan@saddi.com
© 2004, Jan Kneschke、 インクリメンタル。
© 2001-2006, Patrick K. O'Brien および協力者。
© 2003-2009 Stuart Bishop stuart@stuartbishop.net.
© 2006 Kirill Simonov.
© 1996-2006 Julian R Seward.
© 2004, 2005 Darren Tucker.All rights reserved.
© 1997-2008 University of Cambridge.All rights reserved.
© 2007-2008, Google Inc. All rights reserved.
© 1990-2003 Sleepycat Software. All rights reserved.
© 1995-2004 Jean-loup Gailly および Mark Adler.
© 2004 Micah Dowty.
© 1997-2006 by Secret Labs AB
© 1995-2006 by Fredrik Lundh.
© 1988,1990,1993,1994 by Paul Vixie.
© 2007-2009 Charles du Jeu.

このライセンスのリスト は随時変化する場合があり、 ユーザー インタフェースの “Credits (クレジット)” という見出しの下に記載 されています。

商標

Apple、Mac、Time Machine および Macintosh は、Apple Computer, Inc. の登録商標です。Microsoft、Windows XP、Windows Vista および Windows 7 は、Microsoft Corporation の登録商標です。本マニュアルに記載されているその他の商標は、関連各社に帰属します。

変更について

本書で使用する資料は参考として提供されており、予告なく変更することがあります。本書の作成にあたっては正確さを期していますが、本書に掲載された情報の誤謬または省略に起因する、あるいは本書に記載する情報を利用した結果により生じる損害に対して、当社は一切の責任を負いません。当社は、無条件で製品の設計または製品マニュアルの変更や改訂を予告なく実施する権利を有します。

カナダ適合規定

本クラス A デジタル機器は、カナダ干渉発生機器規定 (Canadian Interference-Causing Equipment Regulations) のすべての要件を満たしています。

ROHS 準拠

本製品は ROHS に準拠しています (有害物質規制、欧州指令 2002/95/EC に対応)。

CE 認証に関するメーカーの宣言

当社は、本機器が以下の欧州規格に準拠していることを明言します。クラス B EN60950、EN55022、EN50082-1、EN61000-3-2

下記条件に関して:73/23/EEC 低電圧指令、89/336/EEC EMC指令

FCC Statement

LaCie 2big Network 2
FCC 規格による適合試験に合格(For Home or Office Use)

注記:本機器は、FCC 規則 Part 15 に定められた クラス B デジタル装置に関する規制要件の試験に合格し、同規則に準拠することが証明されています。これらの規定要件は、住宅に設置する際、有害な干渉から適切に保護するために定められています。本機器は、無線周波数帯域のエネルギーを発生、使用し、これを放射する場合もあります。また、本取扱説明書の指示に従って設置および使用しない場合、無線通信に有害な干渉をもたらす場合があります。ただし、特定の設置方法において干渉が発生しないという保証はありません。本機器がラジオ、テレビの受信に有害な干渉をもたらす場合 (これは本機器の電源のオン/オフにすることにより判断できます)、次の方法により干渉の解決を試行することをお勧めします。

- 受信アンテナの向き、または位置を変える。
- 本機器と受信機の距離を離す。
- 受信機が接続されているものとは異なる別系統のコンセントに、本機器を接続する。
- 販売代理店または経験豊かなラジオ/テレビ技術者に相談する。
- LaCie の承認を受けずに本機器に変更または修正を加えると、FCC およびカナダ適合規定に違反し、ユーザーは本機器を操作する権利を失うことがあります。

本製品または梱包箱に示されたこの記号は、本製品を他の家庭廃棄物と一緒に廃棄してはならないことを意味します。電気・電子製品廃棄物のリサイクルを行う所定回収場所に該当機器を持ち込んで処分することは、ユーザーの責任とします。他のゴミと分別して機器廃棄物の回収や再利用を行うことで、自然資源の保護に役立ち、人々の健康や環境を保護するような形でリサイクルできるようになります。機器廃棄物をリサイクルする際の回収場所に関する詳細は、お住まいの地方自治体の家庭廃棄物担当部署または本製品を購入された販売店へお問い合わせください。

健康と安全性の注意

- 本製品の保守作業は、有資格者のみが行えます。
- 本製品の設定にあたっては、本ユーザー マニュアルを十分に読み、正しい手順に従ってください。
- 本製品を開けたり、分解または改造しないでください。感電、火災、ショート、有害な放出などの危険を避けるために、本製品に金属物を挿入しないでください。本製品には、お客様ご自身で修理可能な部品は一切含まれていません。故障が起きたと思われる場合は、資格を有する LaCie テクニカル サポート スタッフに点検をご依頼ください。
- デバイスを雨に晒したり、水の近く、または湿気の多い場所、濡れた状態で使用しないでください。本製品の上には、中に液体の入ったものを置かないでください。こぼした場合に、デバイスの開口部分から液体が中に入る恐れがあります。これにより、感電、ショート、火災、けがなどの危険性が高まります。
- 電源要件は、100～240 V~、0.9 A、50～60 Hz となっています (過電圧カテゴリ II に従って、供給電源の変動範囲は公称、過渡過電圧の ± 10% 以内に収まるようにしてください)。

一般的な使用上の注意

- 本製品は、温度 5°C-35°C、動作湿度 5～80% (結露なし)、保管湿度 10～90% (結露なし) の範囲内で使用し、その範囲外の温度や湿度には晒さないでください。指定範囲外で使用すると、本製品が損傷したり、ケースが変形することがあります。また、本製品を熱源の近くに置いたり、直射日光 (窓越しの直射日光も同様) に当てないでください。逆に、極端に低温の場所または湿気の多い場所に置くと、本製品が損傷する恐れがあります。過熱の恐れがあるため、本製品を複数積み重ねないようにしてください。
- 落雷の恐れがある場合、または長時間使用しない場合は、必ず、本製品のプラグをコンセントから抜いてください。プラグを差し込んだままにすると、感電、ショート、火災の危険性が高まります。
- 本製品に同梱されている電源装置のみを使用してください。
- 本製品をテレビ、ラジオ、スピーカーなど他の電気器具の近くで使用しないでください。そのような器具の近くで使用すると干渉を起こし、他の製品の動作に悪影響を及ぼします。
- 本製品をコンピュータのディスプレイ、テレビ、スピーカーなど、磁気干渉を起こすものの近くに置かないでください。磁気干渉により、本製品の動作や機能の安定性に影響を及ぼすことがあります。本製品の上に重いものを置かないでください。
- 本製品に無理に負担をかけたりしないでください。問題に気づいた場合は、本書の「トラブルシューティング」を参照してください。

重要な情報:本製品の使用中に生じたデータのいかなる損失、改悪、破壊は、お客様ご自身の責任であり、いかなる場合であっても当社はそのデータの回復または修復について責任を負いません。データの損失を避ける手段の 1 つとして、データのコピーを 2 部取ることをお勧めします。例えば、1 部を外付けハード ディスクに取り、もう 1 部を内部ハード ディスクや別の外付けハード ディスク、またはリムーバブル ストレージ メディアに取ります。LaCie では、CD、DVD ドライブの豊富な製品ラインを提供しています。バックアップについて詳しくは、当社の Web サイトをご覧ください。

重要な情報:1GB は 1,000,000,000 バイトです。1TB は 1,000,000,000,000 バイトです。フ

ォーマット後に実際に利用可能なストレージ容量は、動作環境によって異なります (通常 10% 減)。

重要な情報:製品寿命中に製品が改善されると、マニュアル記載の情報やスクリーンショットと、実際にユーザーに対して表示されるものが異なるようになることがあります。

注意:メーカーからの承認を受けずに本機器に変更または修正を加えた場合、ユーザーは本機器を操作する権利を失うことがあります。

注意:FCC　　の定める電波規制に適合し、さらに周辺のラジオやテレビ受信に干渉を引き起こさないよう、必ずシールド タイプの電源コードを使用してください。必ず、付属の電源コードのみを使用してください。

1. 概要

LaCie 2big Network 2 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。小規模オフィスでのデータ共有およびバックアップのニーズを満たすよう設計された LaCie 2big Network 2 は、セキュリティ機能が備わった共有ストレージの新世代製品です。

本マニュアルをご覧いただくときには、PDF　のブックマークを使用、または目次を参照してください。以下のクイック　リンクを使用すると、重要なセクションにすばやく移動できます。

クイック リンク

トピックをクリックしてください:

- ネットワークへの接続
- ファイルのアクセスと転送
- LaCie 2big Network 2 の管理

1.1. 最小システム要件

1.1.1. Windows をご使用の方

- Ethernet ネットワーク アダプタ搭載のコンピュータ
- Windows XP、Windows Vista、または Windows 7
- 最小ディスク空き容量:600MB 推奨
- Web ブラウザ:Internet Explorer 7.0、Firefox 3.0 、Safari 3.0、または Chrome 2.0 以降

1.1.2. Mac をご使用の方

- Ethernet ネットワーク アダプタ搭載のコンピュータ
- Mac OS X 10.4、10.5、10.6
- 最小ディスク空き容量:600MB 推奨
- Web ブラウザ:Internet Explorer 7.0、Firefox 3.0 、Safari 3.0、または Chrome 2.0 以降

1.1.3. Linux をご使用の方

- Ethernet ネットワーク アダプタ搭載のコンピュータ
- Linux 2.6 以上
- 最小ディスク空き容量:600MB 推奨
- Web ブラウザ:Internet Explorer 7.0、Firefox 3.0 、Safari 3.0、または Chrome 2.0 以降

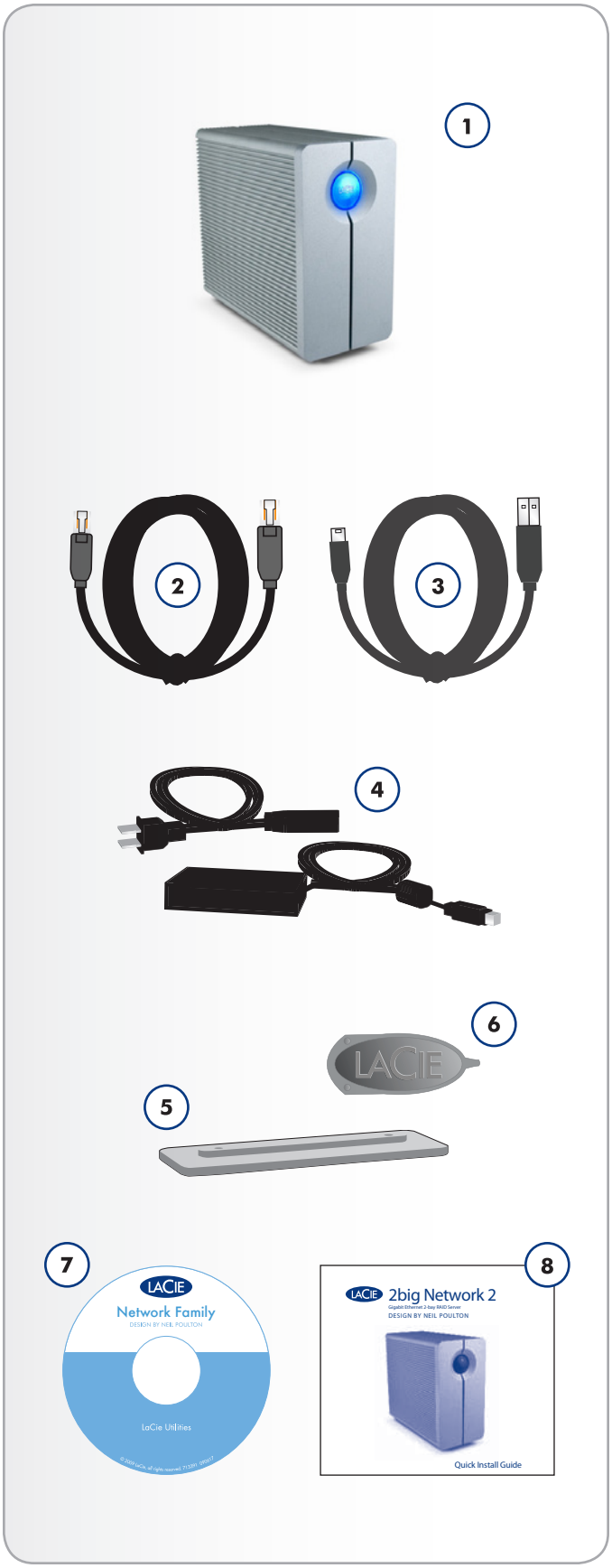
重要な情報: LaCie 2big Network 2 のパフォーマンスは、ネットワーク アクティビティ、ハードウェア、距離、およびセットアップなどの外部要因による影響を受ける場合があります。

重要な情報:パフォーマンスを最適化するため、ホスト コンピュータで Gigabit Ethernet ルータおよび Gigabit Ethernet ボードをご使用ください。

1.2. パッケージ内容

1. LaCie 2big Network 2
2. Ethernet ケーブル
3. USB 2.0 ケーブル
4. 外部電源装置
5. 縦置き用のドライブ スタンド
6. ドライブ ベイ ロック用のキー
7. Utilities CD-ROM (ユーザー マニュアルとソフトウェア収録)
8. クイック インストール ガイド

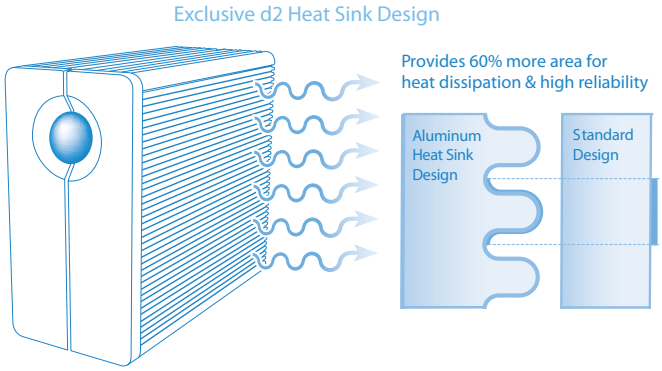
重要な情報:購入時の梱包材は保管しておいてください。デバイスの修理または点検が必要になった場合、必ず製品の包装箱に梱包してご返送ください。



1.3. ハード ディスク熱管理

放熱設計

LaCie 2big Network 2 のメタル ボディは、ディスク内部の熱を自然に分散させるために理想的です。この独特な設計は、内部のディスクから外装ケースに熱を分散させます。この特色により、内部のディスクから熱を取り除き、ドライブの安全を守り、寿命と信頼性を向上させます。その結果、外装ケースに触れたときに熱い状態であっても正常です。



縦置き、横置き、ラックマウント可能

ハード ディスクを縦置きにしたときに、最大限の熱分散が達成されます。数台の LaCie ハード ディスクを積み重ねた場合は、付属のラバー フィートをハード ディスクの底に必ず取り付けてください。これによってディスク間で空気が流れるようになり、効果的に放熱が行われます。LaCie ではドライブを 3 台を超えて積み重ねることはお勧めしません。特に、積み重ねたドライブの電源を同時にオンにする場合は、ご注意ください。

1.4. 製品の外観

1.4.1. 正面図

ボタンおよびアクティビティ　LED:青色のボタンが点灯しているときは、ディスクが稼働していることを示します　(ユーザー インタフェースの Dashboard を使用してオフにしている場合を除きます)。スリープ モードに切り替えたり、スリープ モードからウェークアップしたりするように構成することもできます。詳しくは、「2.5. 電源ボタンの機能」および「4.12. Dashboard:エコ管理」を参照してください。

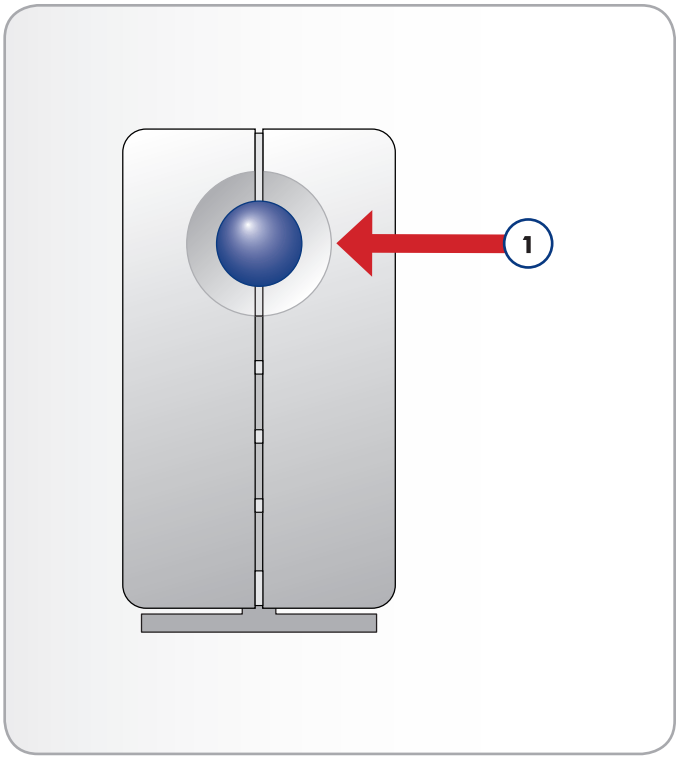


図 01

1.4.2. 背面図

1. 左ドライブのステータス LED
2. オン/オフ
3. Gigabit Ethernet
4. eSATA 拡張
5. USB 2.0 拡張
6. 左ドライブのステータス LED
7. ドライブ トレイ ハンドル
8. ドライブ ロック
9. USB 2.0 直接接続
10. 電源コネクタ

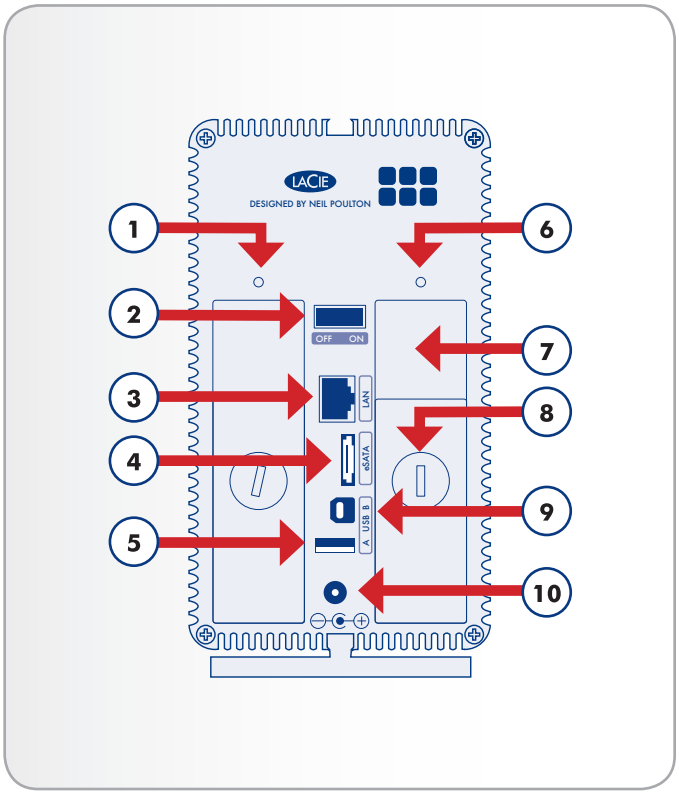


図 02

1.4.3. LED の動態

正面および背面の LED はドライブのステータスとアクティビティを示します。このセクションでは、LED インジケータの動作について説明します。

技術面での注意: Dashboard を使用して正面の LED をオフにした場合でも (4.12. Dashboard:エコ管理) 赤色のライトをトリガするイベントが発生すると、正面 LED はオンになります。

正面 LED の色	背面 LED の色	2big Network 2 の状態
青色に点滅	動作中のディスクのアクティビティ LED (完全に初期化が完了するまで)	2big の起動中に生じます。ディスクが完全に初期化すると、停止します。
		RAID を同期中。操作が完了すると停止します。
青色に連続点灯	動作中のディスクのアクティビティ LED	ディスクが動作中 (読み取り/書き込み)
青色/赤色に点滅	動作中のディスクのアクティビティ LED	RAID　の劣化。データは影響を受けませんが、ディスクに障害が発生したときは保護されません。
	故障したディスクで赤色に連続点灯	
赤色に点滅	動作中のディスクのアクティビティ LED	電源は切断されましたが、UPS から電力の供給を受けています。
		温度警告 (第 1 レベル)
赤色に連続点灯	動作中のディスクのアクティビティ LED	温度警告 (重大レベル) – 製品はオフになります。
	動作中のディスクのアクティビティ LED	電源が切断され、UPS の予備電源を使い果たしました – 製品はオフになります。
	故障したディスクで赤色に連続点灯	RAID に障害が発生し、データが失われました。

2. ネットワークへの接続

2big Network 2 は、USB 経由でコンピュータに直接接続するか、Ethernet 経由でネットワークに接続することができます。この章では、ハード ドライブをネットワークに接続する方法を説明しています。コンピュータへの接続について詳しくは、「3.4. USB を経由して共有にアクセスする」を参照してください。

次の手順に従って、LaCie 2big Network 2 をネットワークに接続できます。

2.1. ステップ 1：電源の接続
2.2. ステップ 2：Ethernet ケーブルの接続
2.3. ステップ 3：LaCie Network Assistant を使用して接続する
2.4. ステップ 4：セットアップ ウィザードを実行する

2.1. ステップ 1：電源の接続

1. 壁のコンセントと LaCie 2big Network 2 に電源装置を接続します (図 03)。

ここでステップ 2、「2.2. ステップ 2：Ethernet ケーブルの接続」の手順を実行してください。

注意:本製品に付属する AC アダプタ以外は使用しないでください。他の LaCie 製品の電源装置または他のメーカーの電源装置は使用しないでください。他の電源ケーブルまたは電源装置を使用すると、装置の損傷をきたし、保証が無効になる場合があります。本製品を移動するときは、必ず AC アダプタを取り外してください。アダプタを取り外さずに移動すると、デバイスの損傷を引き起こし、保証が無効になる場合があります。

技術面での注意: LaCie ドライブは 100V ～ 240V の間で自動的に電源の切り替えを行うため、海外でもご使用いただけます。海外でご使用になる場合は、適切なアダプタまたはコードをご用意ください。不適切なアダプタの使用により本製品に損傷が生じた場合、当社では責任を負いかねます。当社認定品以外のアダプタをご使用になると、保証が無効になります。

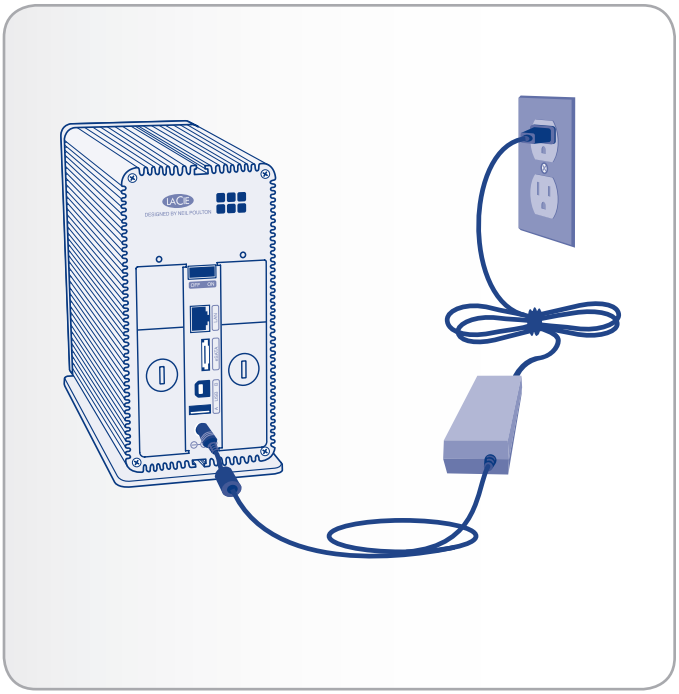


図 03

2.2. ステップ 2:Ethernet ケーブルの接続

1. Ethernet ケーブルを LaCie 2big Network 2 の背面にある Ethernet ポートに接続します (図 04)。
2. Ethernet ケーブルのもう一方の端をルータまたはハブの Ethernetの空き "out" ポートに接続します(必要な場合は、ルータまたはハブのマニュアルを参照してください)。
3. 背面にある電源ボタンを押して、ハード ディスクの電源を入れます (図 05)。正面の LED が点灯し、点滅し始めます。

ドライブは、青色の LED が点滅しなくなったらアクセスの準備が整っています。起動するまで最長 3 分かかることがあります。

ここでステップ 3、「2.3. ステップ 3：LaCie Network Assistant を使用して接続する」の手順を実行してください。

技術面での注意:コンピュータの Ethernet 設定によっては、Ethernet ケーブルを使用して 2big Network 2 をコンピュータに直接接続できることがあります。

Gigabit Ethernet ケーブルおよびコネクタ

LaCie 2big Network 2 をネットワーク デバイスに接続するために使用する Ethernet ケーブルの図については、図 06 を参照してください。Ethernet ケーブルの端は同一で、どちらの端を LaCie 2big Network 2 またはルータに接続してもかまいません。

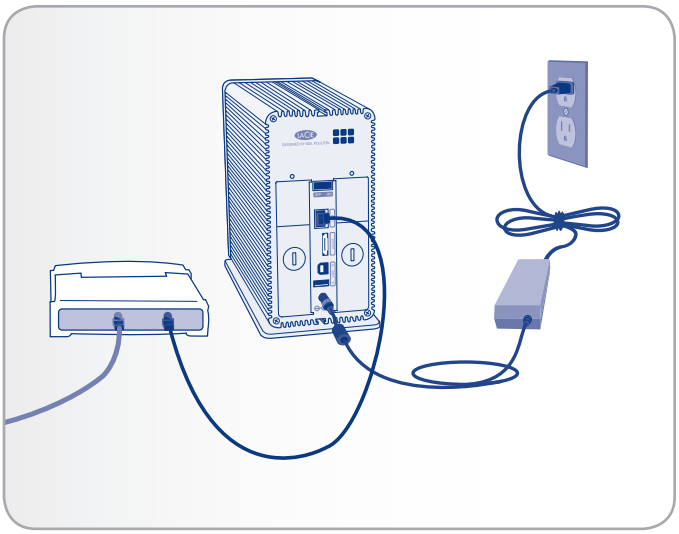


図 04

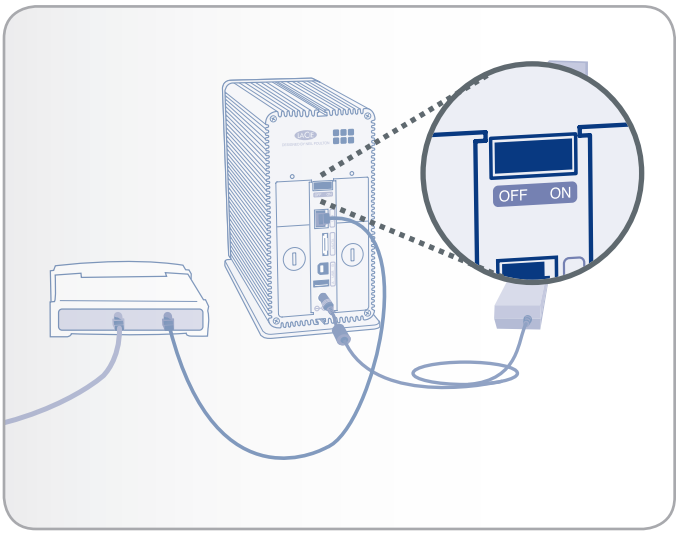


図 05

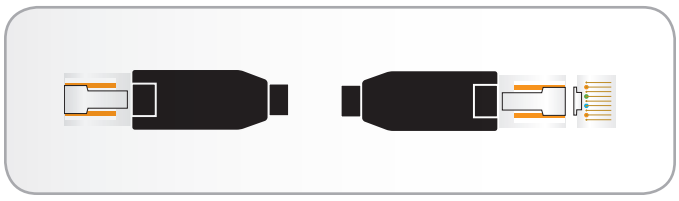


図 06 - Gigabit Ethernet ケーブルの両端子

2.3. ステップ 3: LaCie Network Assistant を使用して接続する

LaCie Network Assistant ソフトウェアは、ネットワークのストレージ デバイスに接続されているすべての LaCie ネットワーク接続ストレージ デバイスを検出し、簡単な接続/構成方法を提供します。

インストールして実行すると、Network Assistant がタスク バー (Windows の場合は図 08) またはメニュー バー (Mac の場合は図 09) に表示され、ネットワーク上のストレージ デバイスを自動的に検索します。新しいデバイスが発見されると、アイコンが点滅します。

Network Assistant が LaCie 2big Network 2 を検出すると、その共有に接続し、Dashboard (ユーザー インタフェース、「4.1. Dashboard:Accessing (アクセス)」を参照) にログインします。ネットワーク設定を構成することもできます。

技術面での注意:2big Network 2 を購入する前に LNA をインストールしている場合は、LaCie Web サイトから最新バージョンをダウンロードしてインストールしていることを確認してください。

技術面での注意:LNA をインストールしない場合は、http://LaCie-2big (Windows)、http://lacie-2big.local (Mac)、または http://[IP アドレス] (Windows または Mac) と入力して Dashboard にアクセスできます。

LaCie Network Assistant のインストール:

1. LaCie 2big Network 2 CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入します。
2. Windows ユーザーの場合、[マイ コンピュータ] に CD が表示されます。Mac ユーザーの場合、CD がデスクトップに表示されます。CD アイコンをダブルクリックしてから、[LaCie Network Assistant Setup (LaCie Network Assistant のセットアップ)] をダブルクリックします。
3. ウィザードの手順に従ってインストールを完了します。

次のページに続く >>

図 07

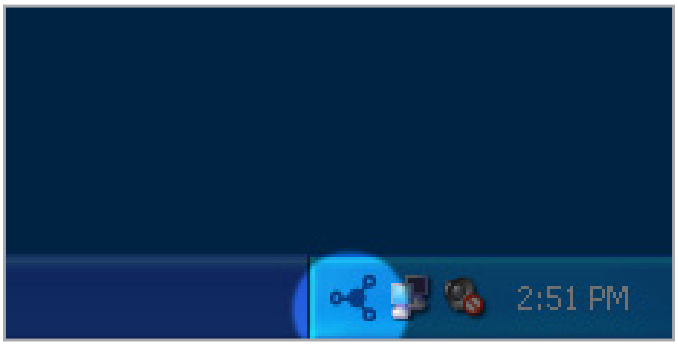


図 08

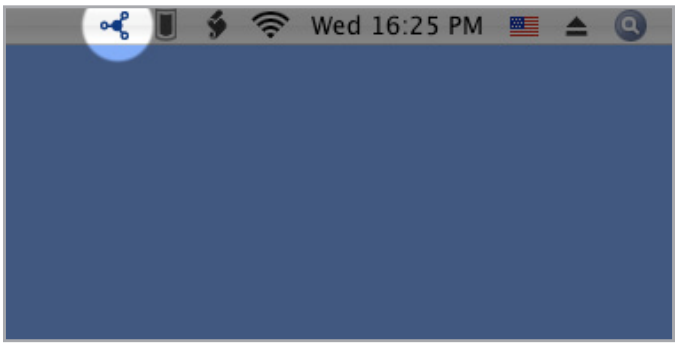


図 09

LaCie 2big Network 2 への接続:

1. LaCie Network Assistant を起動し、これを使って Dashboard (管理ページ) を開きます。

Windows をご使用の方

[スタート]、[プログラム] の順にクリックして、LaCie Network Assistant を選択します。Network Assistant アイコンがシステム トレイに表示され (図 10)、Network Assistant が自動的に LaCie 2big Network 2 およびネットワーク上にあるその他のストレージ デバイスを検出します (図 11)。

Mac をご使用の方

[アプリケーション] フォルダの [LaCie Network Assistant] を選択します。Network Assistant アイコンがメニュー バーに表示され、Network Assistant が自動的に LaCie 2big Network 2 およびネットワーク上にあるその他の LaCie ストレージ デバイスを検出します。

2. システム トレイ (Windows の場合)、またはメニュー バー (Mac の場合) でアイコンをクリックし、[LaCie-2big] (図 12) を選択します。デフォルトの Web ブラウザで [Dashboard] が開きます。

3. 初めて Dashboard に接続した場合、次のステップ「2.4. ステップ 4：セットアップ ウィザードを実行する」に進んでください。その後のログインについては、「4.1. Dashboard:Accessing (アクセス)」を参照してください。

図 10

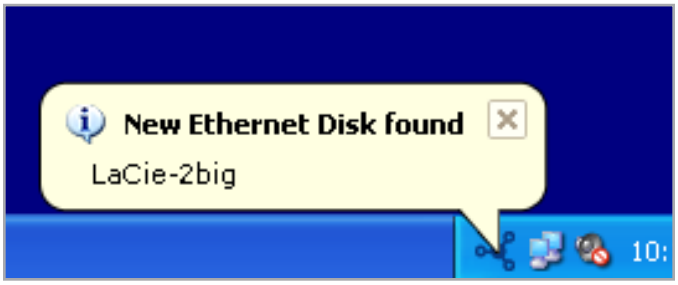


図 11

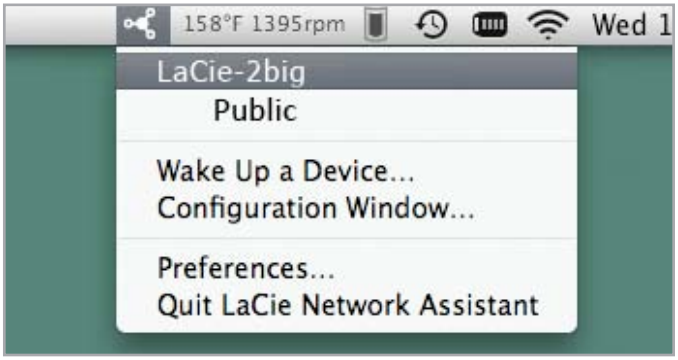


図 12

2.4. ステップ 4:セットアップ ウィザードを実行する

初めて Dashboard にログインすると、Setup Wizard (セットアップ ウィザード) がブラウザにロードされます (図 13)。Setup Wizard (セットアップ ウィザード) は 3 つのセクションに記入する構成になっており、2big Network 2 の設定に役立ちます

a. General Settings (一般設定):マシン名を変更し (オプション - 名前には文字 (大文字・小文字を区別)、数字、ハイフンのみを使用できます。最大 15 文字まで。)、管理者のログイン名とパスワード (最低 4 文字) を作成します)。

重要な情報:文字 (大文字・小文字を区別)、数字、ハイフン、アンダースコアを使用して 4 ～ 20 文字まで入力できます。その他の記号、句読点、スペースは使用できません。ハイフンおよびアンダースコアを始めと終わりに使用しないでください。

重要な情報:何らかの理由で Setup Wizard (セットアップ ウィザード) での操作を完了しないと、デフォルトのログイン認証情報は admin/admin になります。

b. Time Configuration (時刻の構成):日付と時刻を手動で設定するか、サード パーティのサーバーに同期させるかを選択します。[Test (テスト)] ボタンを押し、同期が動作することを確認します。[Time Synchronization (時刻の同期)] オプションが選択されている場合は、日付と時刻の設定を変更することはできません。

c. Disk Configuration (ディスクの構成):USB 経由でディスクをコンピュータに接続したときに利用できるストレージ総容量を指定します。また、コンピュータがネットワークに接続したときに利用できるストレージ容量を指定します。この容量は、0 GB ～ 総容量の 1/2 の容量の間で変更できます (デフォルトは 0 GB)。

USBShare のサイズを増やす場合、共有をフォーマットすることが必要です。Setup Wizard (セットアップ ウィザード) が完了したら、[Drive Information (ドライブ情報)] > [USB Drive (USB ドライブ)] に移動し、[Format (フォーマット)] を選択します (詳しくは、「4.11. Dashboard:ドライブの情報」を参照)。

完了したら、[Finish (終了)] をクリックして Dashboard に進みます (図 13)。

2big Network 2 の構成が完了し、使用準備が整いました。次のセクション「3. ファイルのアクセスと転送」および「4. LaCie 2big Network 2 の管理」に進みます。

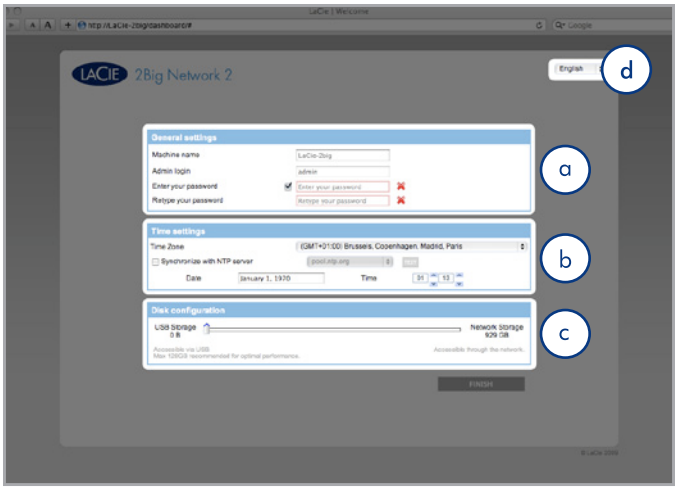


図 13

重要な情報:オペレーティング システムのネイティブ ディスク ユーティリティを使用して USBShare を NTFS または HFS+ にフォーマットする場合を除き、USBShare のサイズを 128 GB を超えた値に設定しないことをお勧めします。

注記:マシン名は、後で Dashboard で変更できます。

注記:このページで言語を変更することも可能です (図 13、d)。

技術面での注意:固定 IP アドレスの割り当てが必要な場合は、「2.6. 固定 IP アドレスを割り当てる」を参照してください。

2.5. 電源ボタンの機能

多機能の正面 LED/ボタンを使用すると、スリープ モードを有効/無効にしたり、デフォルトにリセットしたりできます。

- スリープ モードを有効にするには:このモードは、次の手順で有効にできます。

  a. Deep Sleep Mode (ディープ スリープ モード) を [Dashboard (ダッシュボード)] > [Eco Management (エコ管理)] で有効にしている場合、青色のボタンをクリックして押さえたままにします。

  b. または、Deep Sleep Mode (ディープ スリープ モード) を [Dashboard (ダッシュボード)] > [Eco Management (エコ管理)] で有効にしている場合、Dashboard の右上隅にある [Shut Down (シャットダウン)] ボタンをクリックすると Deep Sleep Mode (ディープ スリープ モード)(図 14) になります。

- スリープ モードからウェークアップするには:青色のボタンを押します (押さえたままにしないでください)。

  Deep Sleep Mode (ディープ スリープ モード) からウェークアップするには、青色のボタンを押すか、LaCie Network Assistant の Wake on LAN 機能を使用します (「4.12.2. Wake on LAN」を参照) (「4.12. Dashboard: エコ管理」を参照)。

- デフォルトにリセット: この手順については、「6.3. ネットワーク接続のトラブルシューティング」で説明します。

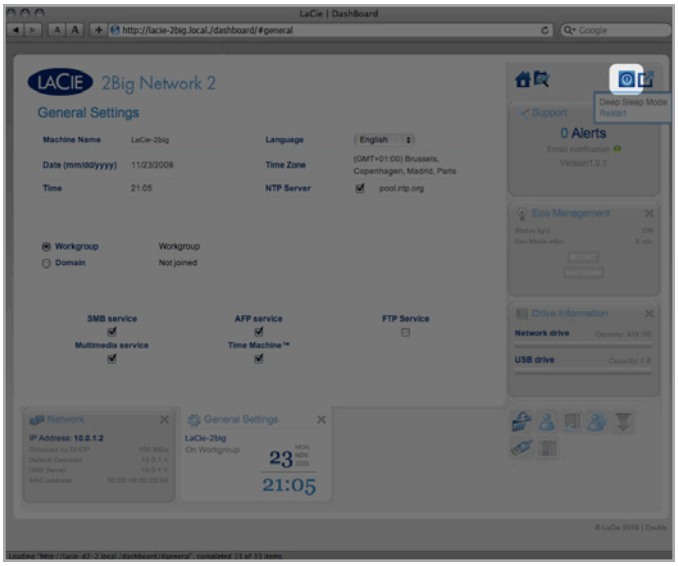


図 14

2.6. 固定 IP アドレスを割り当てる

ほとんどのネットワーク ルータは DHCP サーバーです。そのため、ルータが 2big Network 2 に自動的に IP アドレスを割り当てます。ネットワークが DHCP で管理されていない場合、2big Network 2 が APIPA を使用して既存ネットワークの有効な IP アドレスを自身に割り当てますが、169.254.xxx.yyy/24 の規則に従って IP アドレスを自身に割り当てることもあります。

技術面での注意:2big Network 2 がコンピュータで認識されるようにするため、コンピュータと同じサブネットにある IP アドレスを割り当てるようにしてください。

ネットワークでデバイスに固定 IP の割り当てが必要な場合は、次のステップに従って LaCie Network Assistant を使用します:

1. コンピュータに LAN がインストールされていることを確認します (詳しくは、「2.3. ステップ 3：LaCie Network Assistant を使用して接続する」を参照してください)。
2. LaCie Network Assistant を起動し、[Network setttings (ネットワークの設定)] タブを開きます。

Windows をご使用の方

[スタート]、[プログラム] の順にクリックして、[LaCie Network Assistant] を選択します。Network Assistant アイコンがシステム トレイに表示され、Network Assistant が自動的に LaCie 2big Network 2 およびネットワーク上にあるその他のストレージ デバイスを検出します。

Mac をご使用の方

[アプリケーション] フォルダの [LaCie Network Assistant] を選択します。Network Assistant アイコンがメニュー バーに表示され、Network Assistant が自動的に LaCie 2big Network 2 およびネットワーク上にあるその他の LaCie ストレージ デバイスを検出します。

3. システム トレイ (Windows の場合) (図 15)、またはメニュー バー (Mac の場合) (図 16) でアイコンをクリックし、[Configuration Window...(構成ウィンドウ)] を選択します。
4. [Network (ネットワーク)] タブをクリックし、[Manual (手動)] を選択します。
5. ご使用のネットワークに合うようにネットワークの設定を変更します。
6. [Apply] をクリックします。

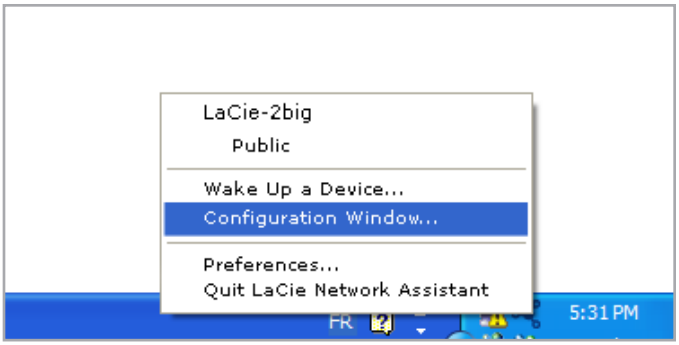


図 15

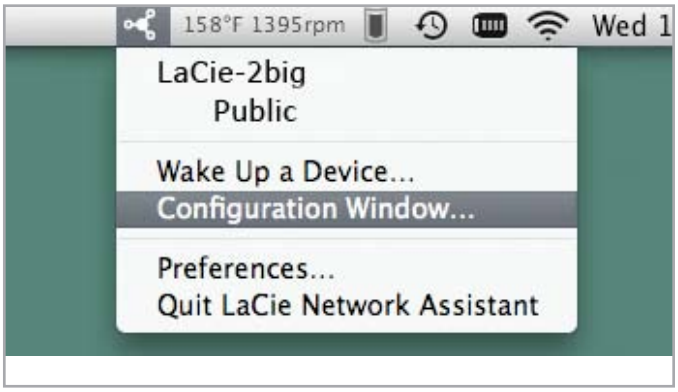


図 16

3. ファイルのアクセスと転送

2big Network 2 のファイルにアクセスし、転送するにはいくつかの方法があります。詳しくは、次のリンクを参照してください。

3.2. LaCie Network Assistant を使用して共有にアクセスする
3.3. ファイル ブラウザを使用しての共有へのアクセス
3.4. USB を経由して共有にアクセスする
3.5. インターネットを経由して共有にアクセスする
3.6. FTP を経由した共有へのアクセス
3.7. マルチメディア サーバー

3.1. デフォルトの共有について

LaCie 2big Network 2 には、デフォルトで、次の 3 つの共有があります (フォルダに類似しています)。Share (共有)、Public (パブリック)、および USBShare の 3 つです (USBShare は USB アクセス用にストレージ容量を割り当てると自動的に作成されます)。次の表に、これらの相違点をまとめます。

氏名	アクセス性	ログイン	使用可能
共有	プライベート、デフォルトでは管理者のみアクセス可能	パスワードで保護	ネットワーク (Ethernet) およびネットワーク上のコンピュータに接続したとき
Public (パブリック)	パブリック、ネットワーク上のどのユーザーでもアクセス可能	なし	ネットワーク (Ethernet) およびネットワーク上のコンピュータに接続したとき、または UPnP/DLNA 認定プレーヤー/アダプタ経由で接続したとき (UPnP サービスが有効な場合)
USBShare	パブリック (接続した外付け USB ハード ドライブへのアクセス)	なし	ネットワーク (Ethernet) または コンピュータ (USB) に接続したとき、および UPnP/DLNA 認定プレーヤー/アダプタ経由で接続したとき (UPnP サービスが有効な場合)

このため、2big Network 2 をネットワークに接続すると、管理者は 3 つのすべての共有にアクセスでき、ゲストは Public (パブリック) と USBShare にアクセスできます (USBShare は、USB アクセス用にストレージ容量を割り当てた場合にのみ利用可能となります)。一方、2big Network 2 を USB 経由でコンピュータに接続した場合、USBShare のみにアクセスできます。新しい共有を作成したり、(USBShare 以外の) デフォルトの共有を削除したりすることもできます。詳しくは、「4.9. Dashboard:Shares (共有)」を参照してください。

3.2. LaCie Network Assistant を使用して共有にアクセスする

コンピュータがローカル エリア ネットワークに接続されている場合、LaCie Network Assistant により LaCie 2big Network 2 上の共有フォルダ (Share (共有)、Public (パブリック)、ユーザー共有、および USBShare) に迅速に接続できるようになります (USBShare を使用できるのは、USB 接続用にストレージ容量を割り当てている場合だけです)。必要に応じて、これらのフォルダをコンピュータにログインするたびに即時に利用できるようにします (この手順については、「3.2.2. 共有のマップ」を参照)。

デフォルトではゲストとしてログインするため、作成したプライベート共有にはアクセスできません。保護のある共有にアクセスするには、LaCie Network Assistant でログイン認証情報を変更することが必要です。この手順については、「3.2.1. ユーザーの切り替え」を参照してください。

共有フォルダにアクセスするには、次の手順に従います。

1. LaCie Setup Assistant を起動

Windows をご使用の方

[スタート]、[プログラム] の順にクリックして、LaCie Network Assistant を選択します。Network Assistant アイコンがシステム トレイに表示され (図 17)、Network Assistant が自動的に LaCie 2big Network 2 およびネットワーク上にあるその他のストレージ デバイスを検出します (図 18)。

Mac をご使用の方

[アプリケーション] フォルダの [LaCie Network Assistant] を選択します。Network Assistant アイコンがメニュー バーに表示され、Network Assistant が自動的に LaCie 2big Network 2 およびネットワーク上にあるその他の LaCie ストレージ デバイスを検出します。

2. システム トレイ (Windows) またはメニュー バー (Mac) のアイコンをクリックし、LaCie 2big Network 2 サブメニュー (図 19) で共有を選択します。

技術面での注意:デフォルトではゲストとしてログインするため、パブリック共有にのみアクセスできます。LaCie Network Assistant を使用してプライベート共有にアクセスする方法については、「3.2.1. ユーザーの切り替え」を参照してください。

次のページに続く >>

図 17

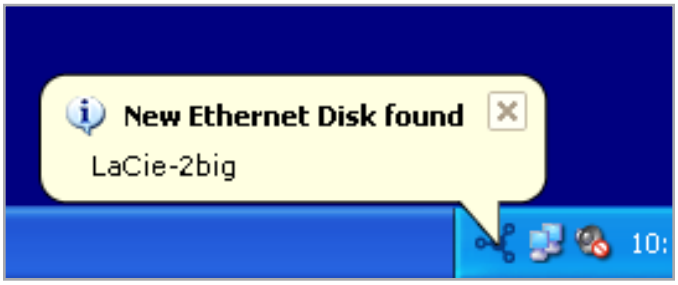


図 18

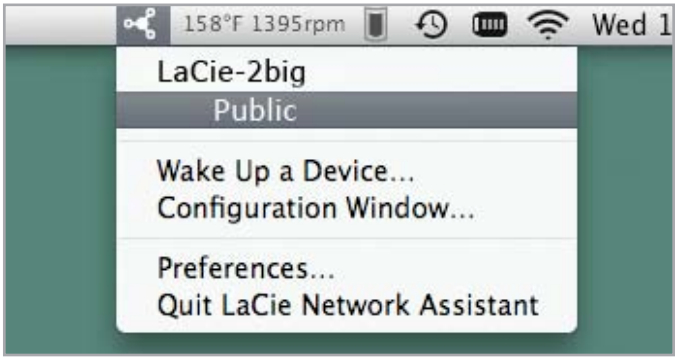


図 19

3. ゲストとしてログインし、[Finder] ウィンドウ (Mac の場合) または [エクスプローラ] ウィンドウ (PC の場合) で共有が開きます。

技術面での注意: Mac をご使用の方:[Finder] ウィンドウで共有が開かない場合は、[ネットワーク] > [LaCie-2big] > [(共有名)] に移動してください。

4. コンピュータから、通常通りに 2big Network 2 共有にファイルを転送します。

重要な情報:USBShare から別の共有に大量のデータをコピーするには、SMB を使用してドラッグ アンド ドロップする方法ではなく、File Browser (ファイル ブラウザ) (3.3. ファイル ブラウザを使用しての共有へのアクセス) を使用することをお勧めします。

3.2.1. ユーザーの切り替え

デフォルトではゲストとしてログインするため、プライベート共有にはアクセスできません。保護のある共有にアクセスするには、LaCie Network Assistant でログイン認証情報を変更することが必要です。次のステップに従います:

1. LaCie Network Assistant アイコンをタスク バー (Windows) またはメニュー バー (Mac) でクリックして、[Configuration Window...(構成ウィンドウ)] を選択します。
2. [Volumes (ボリューム)] タブをクリックし、[authentication (認証)] ボタンをクリックします (図 20)。
3. 入力を求められたら、ユーザー名とパスワードを入力します (図 21)。
4. [OK] をクリックします。ここで LNA アイコンをクリックすると、認証ユーザーがアクセスできる共有の一覧が表示されます。

注記:管理者のログイン名とパスワードは、[Dashboard] > [Home (ホーム)] ページで変更できます。

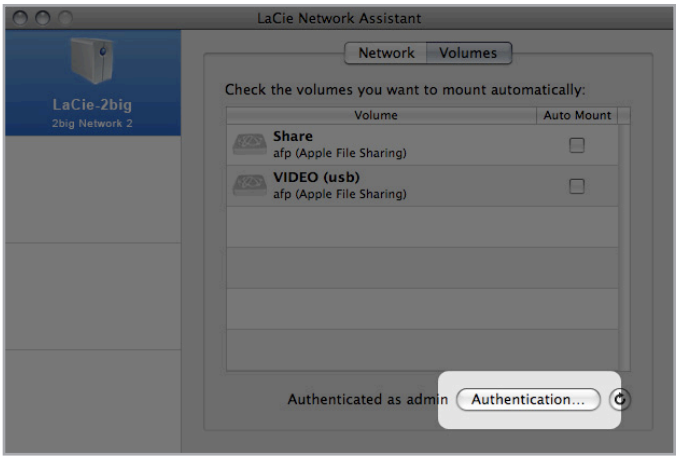


図 20

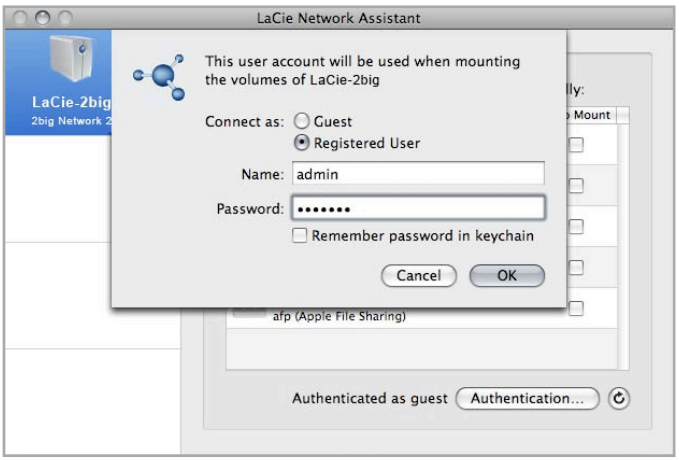


図 21

3.2.2. 共有のマップ

2big Network 2 の共有にアクセスするためにショートカットを使用するには、次の手順に従います。

技術面での注意: Windows をご使用の方:プライベート (パスワードで保護された) 共有にログインした場合、別のプライベート共有にアクセスするには、ログインした共有からログアウトする必要があります。このため、Windows ユーザーの方には、その都度ログアウトする必要がないように、パブリック共有をマップする前にプライベート共有をマップすることをお勧めします。

Windows をご使用の方

1. [エクスプローラ] ウィンドウのメニュー バーで、[ツール]、[ネットワーク ドライブの割り当て] を選択します (図 22)。
2. [共有] を選択します。
3. その他の共有に対しても同じ手順を繰り返します。
4. これで、エクスプローラ ウィンドウから共有にアクセスできるようになります。

Mac をご使用の方

1. メニュー バーの Apple アイコンから、[システム環境設定] > [アカウント] > [ログイン項目] を選択します。
2. 共有のアイコンをデスクトップからアプリケーション一覧にドラッグします (図 23)。
3. Mac OS にログオンすると、共有が自動的にデスクトップにマウントされます。

簡単にアクセスできるように、共有アイコンをドックにドラッグすることもできます。

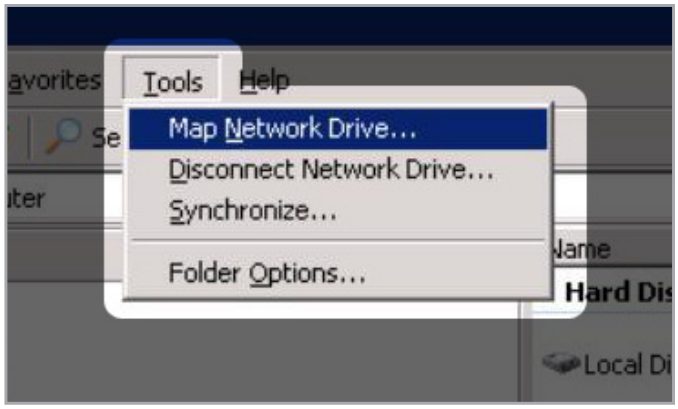


図 22

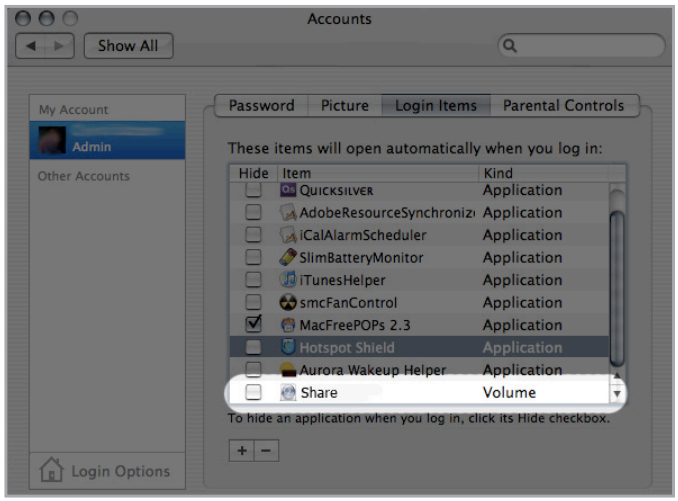


図 23

3.3. ファイル ブラウザを使用しての共有へのアクセス

Dashboard には、HTTP プロトコルを使用してファイルの管理と転送を実行できるインタラクティブな File Browser (ファイル ブラウザ) が備えられています。File Browser (ファイル ブラウザ) を開くには、次の手順に従います。

1. Dashboard にログインします (詳しくは、「4.1. Dashboard:Accessing (アクセス)」を参照してください)。
2. [File Browser (ファイル ブラウザ)] ボタンをクリックします (図 24)。

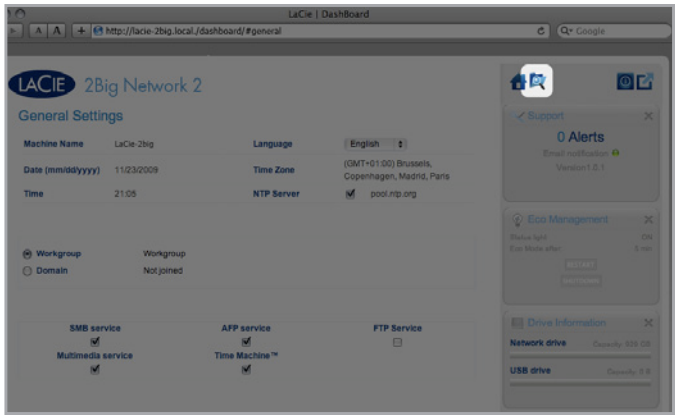


図 24

3.3.1. File Browser (ファイル ブラウザ) について

File Browser (ファイル ブラウザ) を使用すると、ファイルの転送、コピー、削除を行うことができます。サムネイルでの写真の表示や、mp3 または flv ビデオなどのマルチメディア コンテンツのストリーミングを行うことも可能です。ローカル ネットワーク接続やインターネット接続を使用して 2big Network 2 の共有に格納されているファイルを扱うことができる便利な機能です。リモート接続について詳しくは、「3.5. インターネットを経由して共有にアクセスする」を参照してください。

[File Browser (ファイル ブラウザ)] は、次の 5 つの部分で構成されています (図 25)。

1. Tool bar (ツール バー) では、ファイルの表示方法の変更、コンピュータから 2big Network 2 へのファイルのアップロードなど、様々な機能を実行できます。
2. NAS selection では、アクセスする製品を選択できます。
3. Share folders (共有フォルダ) では、選択した共有のフォルダ構造が表示されます。
4. File info (ファイル情報) では、ファイル名、ファイル タイプ、寸法 (写真)、時間 (ビデオ) など、選択したファイルについての情報が表示されます。
5. Folder contents (フォルダの内容) は、選択したフォルダに含まれたファイルを表示します。ファイルをサムネイルとして表示するには、[Tool bar (ツールバー)] で [Thumbs (サムネール)] をクリックします。

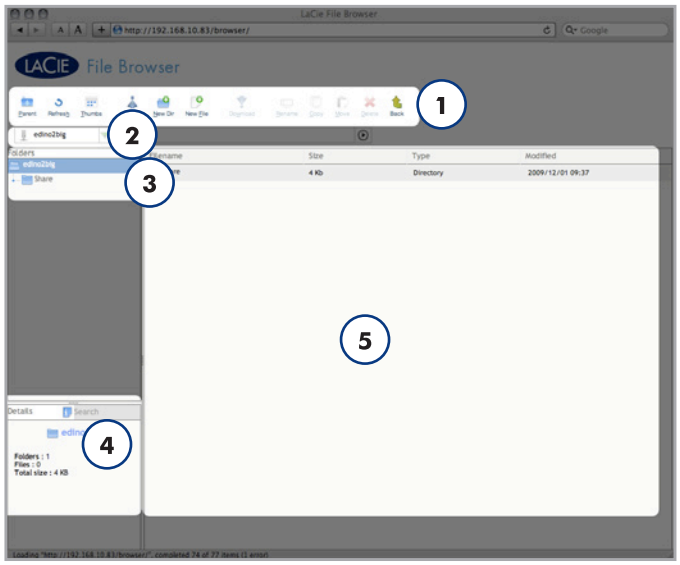


図 25

3.4. USB を経由して共有にアクセスする

2big Network 2 は、Ethernet 経由でネットワークに接続するか、USB 経由でコンピュータに直接接続することができます。この章では、ハード ドライブをコンピュータに接続する方法を説明しています。ネットワークへの接続について詳しくは、「2. ネットワークへの接続」を参照してください。

重要な情報:2big Network 2 を USB 経由でコンピュータに接続する前に、ネットワークに接続して Setup Wizard (セットアップ ウィザード) を実行することが必要です。まず、「2. ネットワークへの接続」の手順に従ってください。さらに、USBShare サイズ スライダを調節して USB アクセス用に割り当てられたストレージ容量を増加する必要があります (デフォルトでは 0GB になっています) (「2.4. ステップ 4 : セットアップ ウィザードを実行する」または「4.11. Dashboard:ドライブの情報」を参照)。

技術面での注意:ネットワークが 10/100 Mbit 転送速度に限られている場合や WiFi を使用している場合は、一般に、USB 接続の方が高速に転送できます。このような場合、まず USB 経由で 2big Network 2 に大量のファイルをコピーし、その後に第 2 のステップとしてこれらのファイルを Ethernet ケーブル経由でネットワーク全体で共有することをお勧めします。

次の手順に従って、LaCie 2big Network 2 をコンピュータに接続します。

3.4.1. ステップ 1 : USB ケーブルの接続
3.4.2. ステップ 2 : ドライブに電源を入れる

3.4.1. ステップ 1:USB ケーブルの接続

重要な情報:ハード　　ディスクをコンピュータに接続する前に、USBShare　　にストレージ容量を割り当ててください。「4.11. Dashboard:ドライブの情報」を参照してください。

1. USB ケーブルの一方の端をコンピュータの空き USB 2.0 ポートに取り付けます (図 26)。
2. USB ケーブルのもう一方の端を 2big Network 2 の背面にある USB 2.0 ポートに取り付けます (図 26)。
3. 次のステップ、「3.4.2. ステップ 2：ドライブに電源を入れる」に進みます。

技術面での注意:2big Network 2 USBShare は、PC と Mac で使用できるよう、MS-DOS (FAT32) でフォーマットされています。Dashboard を使用して、MS-DOS (FAT32) でドライブを再フォーマットできます (詳しくは、「4.11. Dashboard:ドライブの情報」を参照)。USBShare を別のファイル フォーマット (NTFS または HFS+) で フォーマットするには、オペレーティング　システムのディスク管理アプリケーション付属の資料を参照してください。

技術面での注意:デフォルトでは、2big Network 2 をコンピュータに接続したときにアクセス可能な容量は 0 GB になっています。このクオータは調整できますが、500 GB を超えた値にはできません (2TB のストレージ容量の 2big Network 2 では、USB でのアクセス専用になるのは、最大 500 GB です) (詳しくは、「4.7. Dashboard:Users (ユーザー)」を参照してください)。

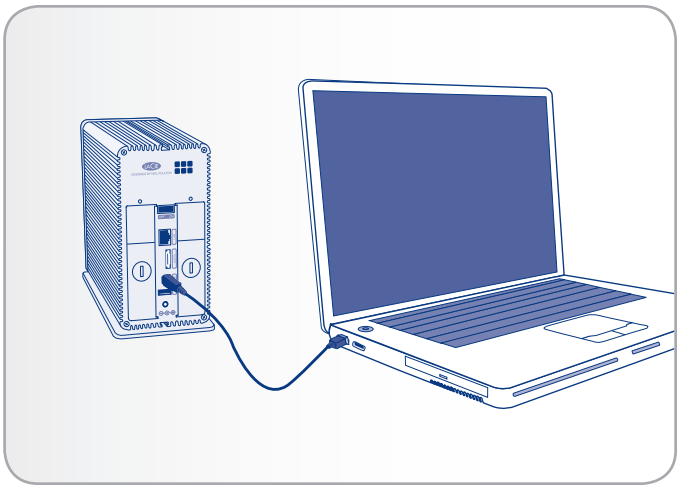


図 26

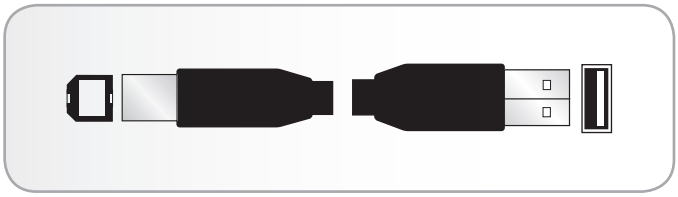


図 27 - Hi-Speed USB 2.0 ケーブルの端子

Hi-Speed USB 2.0 ケーブルおよびコネクタ

LaCie 2big Network 2 をコンピュータに接続するために使用する Hi-Speed USB 2.0 ケーブルの図については、図 27 を参照してください。USB は、周辺装置とコンピュータを相互に接続するためのシリアル入力/出力テクノロジーです。Hi-Speed USB ポートに接続したときに最大のデータ転送パフォーマンスを確保するため、本製品には Hi-Speed USB 2.0 ケーブルが付属しています。ケーブルは、USB 1.1 ポートに接続しても機能しますが、ハード　ディスクのパフォーマンスは USB 1.1 の転送速度に制限されます。

3.4.2. ステップ 2:ドライブに電源を入れる

1. 壁のコンセントと LaCie 2big Network 2 に電源装置を接続します (図 28)。
2. LED が点灯するまでデバイス背面の電源ボタンを押したままにして、ドライブのスイッチを入れます (図 29)。LED が点滅し始めます。
3. LED が点滅しなくなると、ハード ディスクがコンピュータにマウントされ、[マイ コンピュータ/コンピュータ] (Windows の場合) またはデスクトップ (Mac の場合) に表示されます。
4. 通常通りにコンピュータからファイルを転送します。

注意:本製品に付属する AC アダプタ以外は使用しないでください。他の LaCie 製品の電源装置または他のメーカーの電源装置は使用しないでください。他の電源ケーブルまたは電源装置を使用すると、装置の損傷をきたし、保証が無効になる場合があります。ドライブを移動する場合は、必ず AC アダプタを取り外してください。アダプタを取り外さずに移動すると、デバイスの損傷を引き起こし、保証が無効になる場合があります。

技術面での注意: LaCie ドライブは 100V ～ 240V の間で自動的に電源の切り替えを行うため、海外でもご使用いただけます。海外でご使用になる場合は、適切なアダプタまたはコードをご用意ください。不適切なアダプタの使用により本製品に損傷が生じた場合、当社では責任を負いかねます。当社認定品以外のアダプタをご使用になると、保証が無効になります。

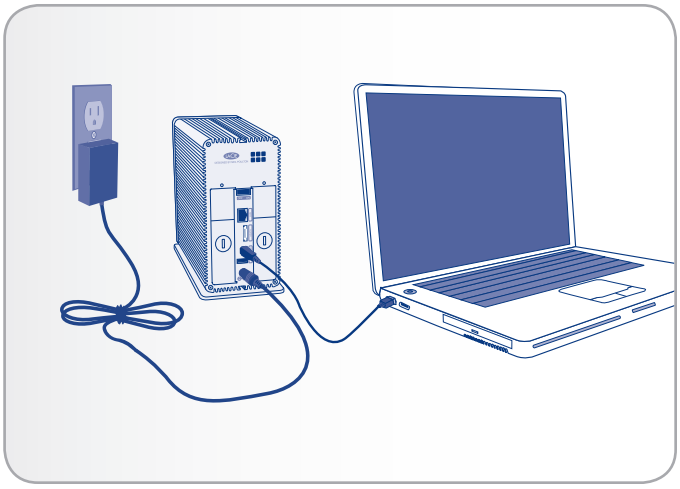


図 28

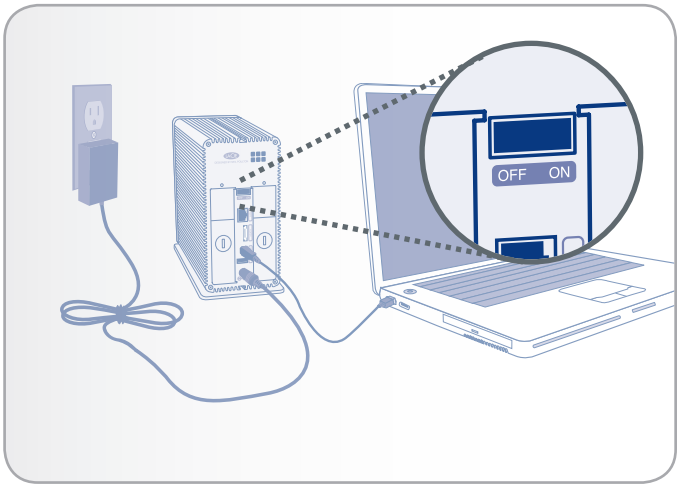


図 29

3.4.3. USB ケーブルの接続解除

外付け USB デバイスには「プラグ アンド プレイ」接続性が備わっているため、コンピュータの実行中にハード ディスクを接続したり、取り外したりすることができます。ただし、故障を防ぐため、ハード ディスクを取り外すときには次の手順に従ってください。

Windows をご使用の方

画面右下にあるシステム トレイから、[ハードウェアの安全な取り外し] アイコン (ハードウェアの上に小さい緑色の矢印が描かれたイメージ) をクリックします (図 30)。

このアイコンが管理するデバイスを一覧表示した「...を安全に取り外します」というメッセージが表示されます。接続を解除するハード ディスクをクリックします。

「ハードウェアを安全に取り外すことができます」という (またはこれに類似した) メッセージが表示されます。以上で、デバイスを安全に取り外せます。

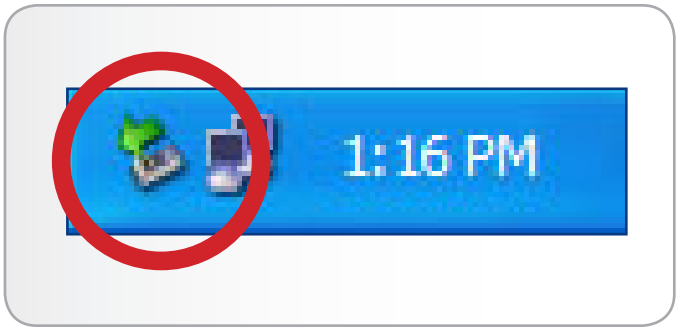


図 30 - Windows をご使用の方

Mac をご使用の方

ハード ディスク アイコンをごみ箱にドラッグします (図 31)。(以下の図は一般的な USB デバイス アイコンです。ドライブの形をしたアイコンで表される場合もあります。)

デスクトップからアイコンが消えたら、ドライブを取り外せます。

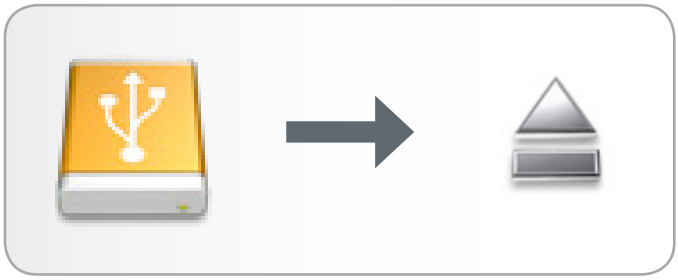


図 31 - Mac をご使用の方

3.5. インターネットを経由して共有にアクセスする

インターネットを経由して 2big Network 2 にアクセスすることができます。接続の確立方法について詳しくは、「4.10. Dashboard:ネットワーク」を参照してください。

接続すると、Web ブラウザ ベースの File Browser (ファイル ブラウザ) を使用して、最も簡単な方法でファイルにアクセスできます。mp3 や flv など、ほとんどのタイプのマルチメディア ファイルのアップロード、ダウンロード、ストリーミングを実行できます。File Browser (ファイル ブラウザ) について詳しくは、「4.10. Dashboard:ネットワーク」を参照してください。

3.6. FTP を経由した共有へのアクセス

FTP プロトコルを使用して、ローカル ネットワークやインターネット上などでコンピュータ間でのファイル転送を行います。このプロトコルを使用すると、ユーザー アカウントのある人のみがアクセスできるため、友人や家族と安全にファイルの交換ができます。

重要な注意:FTP サービスは、デフォルトですべての共有に対して有効になりますが、グローバル レベルまたは共有レベルでサービスを無効にした場合は、サービスを有効にします(「4.6. Dashboard:General Settings (一般設定)」および「4.9. Dashboard:Shares (共有)」を参照)。

FTP 経由で LAN 上でローカルに 2big Network 2 に接続するには、ブラウザまたは FTP クライアントのアドレス フィールドに次のように入力します。

ftp://[IP アドレス]

技術面での注意:2big Network 2 の IP アドレスの検出方法については、「2.6. 固定 IP アドレスを割り当てる」を参照してください。

例：ftp://192.168.10.149

または

ftp://<ユーザー名>:<パスワード>@<ip またはマシン名>/

例：ftp://ringo:4xtp23@LaCie-2big/

ログインするには、Dashboard (4.7. Dashboard:Users (ユーザー)) または Setup Wizard (セットアップ ウィザード) で設定したユーザー名とパスワードを入力します。

ネットワーク上にないコンピュータからハード ディスクにリモートにアクセスするには、「3.5. インターネットを経由して共有にアクセスする」を参照してください。

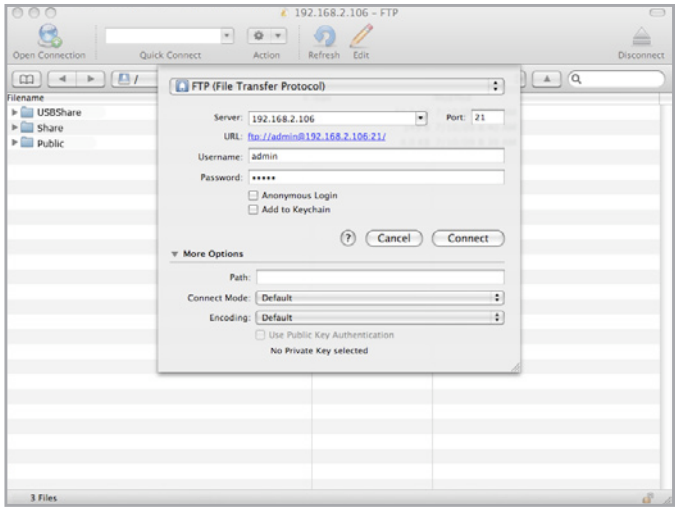


図 32

3.7. マルチメディア サーバー

コンピュータと 2big Network 2 の間でネットワーク接続を確立したら、2big Network 2 を UPnP マルチメディア サーバーとして構成できます。次のステップに従います:

1. 2big Network 2 がホーム ネットワークに正しく接続されていることを確認します (「2. ネットワークへの接続」を参照)。
2. DLNA/UPnP デバイスで利用できるようにする共有を選択し、2big Network 2 Dashboard の共有で UPnP を有効にします (「4.9. Dashboard:Shares (共有)」を参照) (図 33)。
3. 2big Network 2 のパブリック共有にあるファイルや、UPnP/DLNA 認定プレーヤー/アダプタ (XBox 360、PlayStation 3、DLNA 携帯電話など) を再生できるようになります。

技術面での注意:2big Network 2 の拡張ポートに接続されている外付け USB ハード ディスクにあるファイルに DLNA デバイスからアクセスできるようにするには、[Dashboard: External Ports (Dashboard: 外付けポート)] ページで [Multimedia Indexation (マルチメディア インデックス)] を選択します。

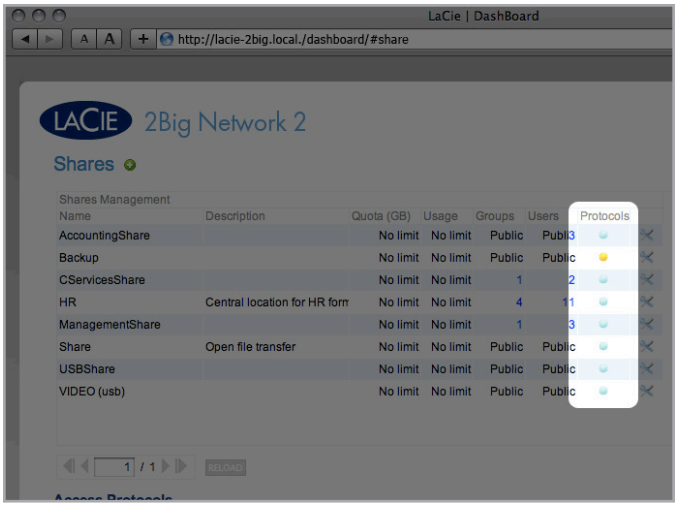


図 33

3.8. iTunes Music Server

2big Network 2 は、iTunes Music Server (iTunes 音楽サーバー) として使用し、保護されていない共有にあるオーディオ ファイルをネットワーク上で iTunes を実行中のコンピュータにストリーミングできます。構成すると、2big Network 2 のマシン名 (デフォルトでは LaCie-2big) の記載されたプレイリストが iTunes の Shared (共有) カテゴリに表示され、2big Network 2 に保存されたオーディオ ファイルがこのプレイリストにリストアップされます。次のステップに従います:

1. 2big Network 2 がホーム ネットワークに正しく接続されていることを確認します (「2. ネットワークへの接続」を参照)。
2. DLNA/UPnP デバイスで利用できるようにする共有を選択し、2big Network 2 Dashboard の共有で UPnP を有効にします (「4.9. Dashboard:Shares (共有)」を参照)。
3. iTunes で共有プレイリストにアクセスします (図 34)。

技術面での注意:iTunes Server Service は、次のファイル タイプに対応しています。.mp3、.wav、.aac、.pls、.m3u。

技術面での注意:これを正しく動作させるには、iTunes の環境設定でライブラリの共有を有効にすることが必要です ([Preferences (設定)] > [Sharing (共有)] で共有ライブラリを探します)。

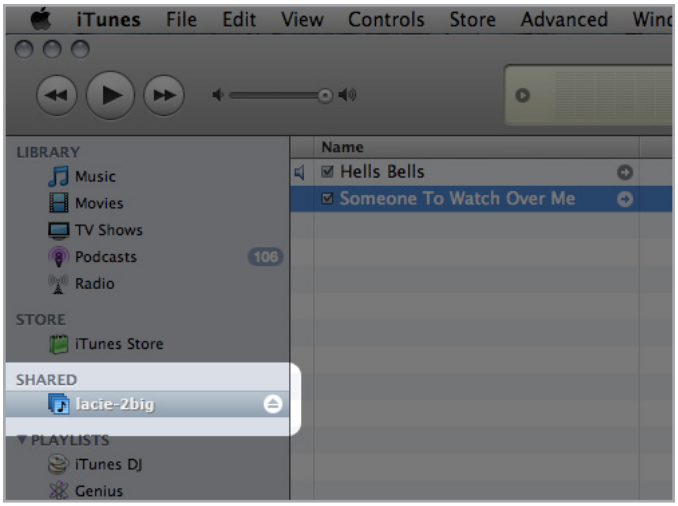


図 34

4. LaCie 2big Network 2 の管理

LaCie 2big Network 2 には、ディスクを設定したり、ユーザーを管理するための使いやすいブラウザ ベース ツールが備えられています。このツールは、Dashboard と呼ばれています。

Dashboard には、ドライブの IP アドレスまたはマシン名をブラウザに入力するか、LaCie Network Assistant を使用してアクセスできます。

初めて Dashboard にログインするとき、Setup Wizard (セットアップ ウィザード) が表示されます (「2.4. ステップ 4 : セットアップ ウィザードを実行する」を参照)。2 回目以降のログインでは、Dashboard Home (ホーム) が直接表示されます (図 35)。登録ユーザーとしてログインすると、自分のアカウントを管理し、アクセスできる共有にあるファイルを管理できるようになります。

この章は、Dashboard のナビゲーションや 2big Network 2 の構成に役立つ次のセクションで構成されています。

4.1. Dashboard:Accessing (アクセス)
4.2. Dashboard:Welcome Page (ウェルカム ページ)
4.3. Dashboard:Navigation (ナビゲーション)
4.4. Dashboard:Logging Out (ログアウト)
4.5. Dashboard:再起動/シャットダウン
4.6. Dashboard:General Settings (一般設定)
4.7. Dashboard:Users (ユーザー)
4.8. Dashboard:Groups (グループ)
4.9. Dashboard:Shares (共有)
4.10. Dashboard:ネットワーク
4.11. Dashboard:ドライブの情報
4.12. Dashboard:エコ管理
4.13. Dashboard:Support (サポート)
4.14. Dashboard:Download (ダウンロード)
4.15. Dashboard:Copy (コピー)
4.16. Dashboard:External Ports (外部ポート)
4.17. Dashboard:RAID
4.18. 製品ソフトウェアのアップデート
4.19. 工場出荷時の設定にリセット

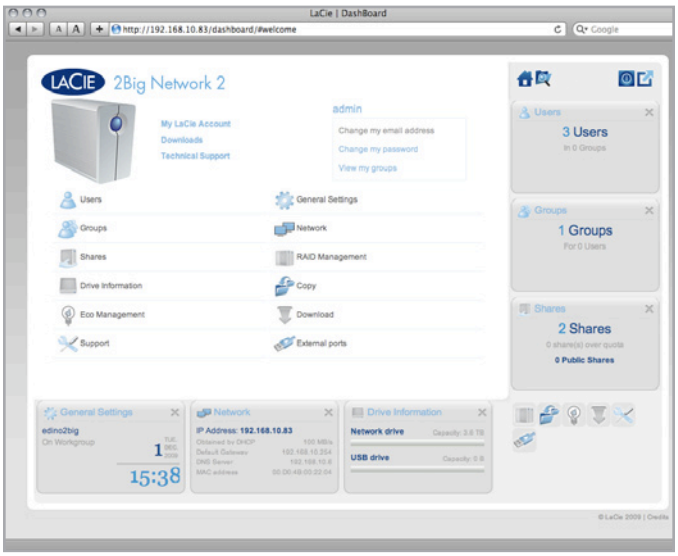


図 35

4.1. Dashboard:Accessing (アクセス)

Dashboard にアクセスする方法には、LaCie Network Assistant とブラウザを使用する、2 つの方法があります。

LaCie Setup Assistant を使用

1. システム トレイ (Windows の場合) またはメニュー バー (Mac の場合) で LaCie Network Assistant アイコンをクリックし、[LaCie-2big] を選択します。

   新しいブラウザ ウィンドウまたはタブに LaCie 2big Network 2 へのログイン ページが開きます (図 36)。ブラウザが開いていない場合は、LaCie Network Assistant によってブラウザが開かれます。

ブラウザの使用

1. インターネット ブラウザ (Firefox、Internet Explorer、Safari など) を開き、ブラウザの URL (Web アドレス) フィールドに LaCie 2big Network 2 の IP アドレスまたはマシン名 (デフォルトでは LaCie-2big) を入力します (図 37)。

   http://[IP アドレス] または

   http://LaCie-2big (Windows)

   http://lacie-2big.local (Mac)

注記: LaCie 2big Network 2 の IP アドレスは、LaCie Network Assistant ネットワークの [Configuration Window (構成ウィンドウ)] で [Network (ネットワーク)] タブをクリックすると表示されます (図 38)。

2. 管理アクセスの場合は、ログイン プロンプトで管理者のユーザー名とパスワードを入力します。

3. [Login] をクリックします。

重要な注意:ログインとパスワードでは、大文字と小文字が区別されます。

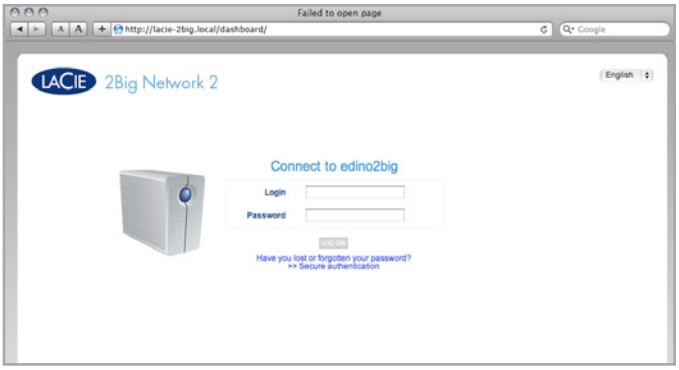


図 36

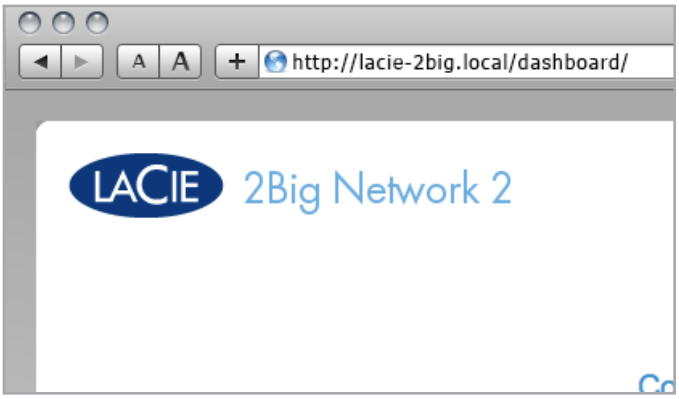


図 37

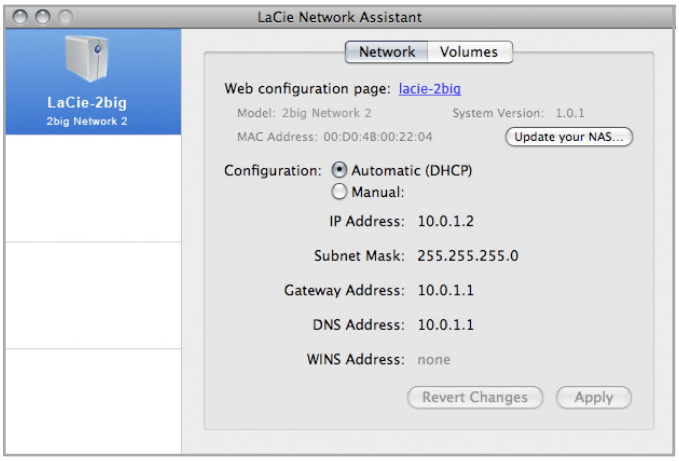


図 38

4.2. Dashboard:Welcome Page (ウェルカム ページ)

[Welcome Page (ウェルカム ページ)] には、LaCie Web サイトからの便利な文書へのリンクが含まれています (図 39、a)。また、Dashboard を構成する様々なページの表も掲載されています (図 39、b)。管理者ユーザー データは変更できません (図 39、c)。

重要な情報: Dashboard に管理者としてサインインする場合は、完全な管理機能のある [Welcome Page (ウェルカム ページ)] の詳細画面が表示されます (図 39)。ユーザーとしてサインインすると、オプションが少なくなります (ユーザー名/パスワードを変更する機能や File Browser (ファイル ブラウザ) にアクセスする機能など)。

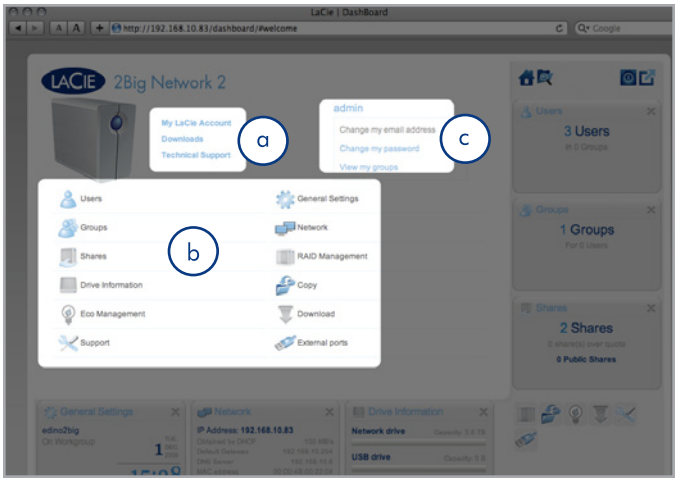


図 39

4.3. Dashboard:Navigation (ナビゲーション)

Dashboard は、ウィジェットに囲まれた中央エリアで構成されています (または、Dashboard を構成する様々なページを表す小さいボックスで構成されています)。ウィジェットは、ページに含まれた情報の概要を表示します。詳細情報を参照するには、該当のページに移動してください。

- ページにナビゲートするには、タイトルの下にあるウィジェットをクリックします。
- ウィジェットを最小表示するには、タイトルの横にある X をクリックします。
- 最小化したウィジェットを展開するには、展開したウィジェットにアイコンをドラッグすると置換されます。

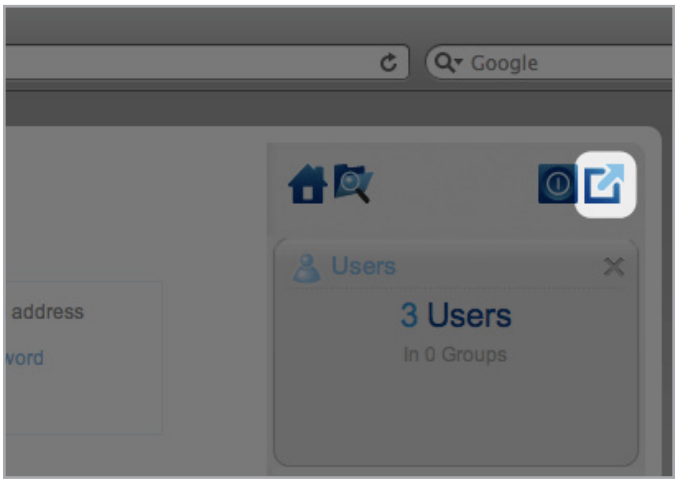


図 40

4.4. Dashboard:Logging Out (ログアウト)

Dashboard からログアウトするには、Dashboard ページの右上隅にあるログアウト ボタンをクリックします (図 40)。

4.5. Dashboard:再起動/シャットダウン

ハード ディスクを再起動またはシャットダウンするには、このボタンをクリックし、[Deep Sleep Mode (ディープ スリープ モード)] または [Restart (再起動)] を選択します (図 41)。

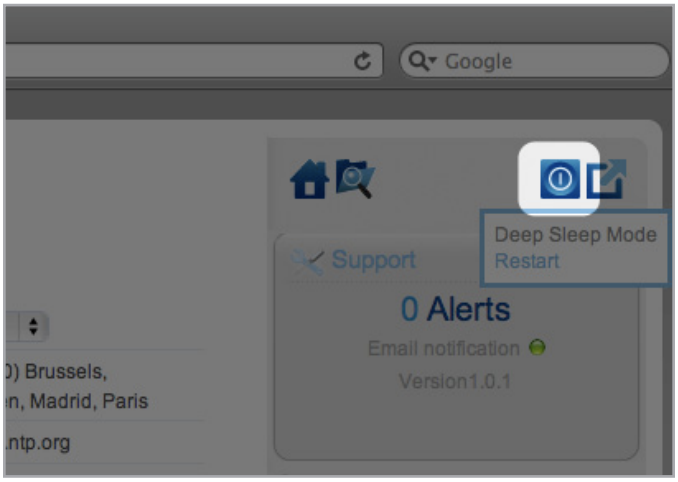


図 41

4.6. Dashboard:General Settings (一般設定)

管理者は、このページを使用して 2big Network 2 の全般的なパラメータを変更できます。

Machine Name (マシン名):マシン名を変更します。マシン名は、LaCie Network Assistant やローカル ネットワーク上で 2big Network 2 を識別します。

重要な情報:マシン名は最大 15 文字です。

Date (mm/dd/yy) (日付 (mm/dd/yy)):日付を変更します。

Time (時刻):時刻を変更します。

Language (言語):Dashboard の言語を変更します。

Time zone (タイムゾーン):時間帯 (タイムゾーン) を変更します。

NTP Server (NTP サーバー):ボックスをクリックし、右側にあるフィールドをクリックして、Network Time Protocol サーバーのアドレスを入力すると、自動的に 2big Network 2 に時刻が設定されます。NTP を選択しているときは、日付と時刻の設定は変更できません。

Workgroup (ワークグループ):Windows ワークグループ名を変更して、2big Network 2 が特定のワークグループに属するようにします。

Domain (ドメイン): 「4.6.1. Active Directory」を参照してください。

技術面での注意: Windows コンピュータでネットワークに接続している Mac ユーザーも、[Finder] ウィンドウで [Network (ネットワーク)] > ["Workgroup (ワークグループ)"] > [LaCie-2big] を選択して同様に共有にアクセスできます。[Workgroup (ワークグループ)] は Windows ワークグループの名前です。

Toggle Services (サービスの切り替え): 様々なサービスのオン/オフを切り替えます。デフォルトでは、すべてのサービスは有効になっています。ただし、UPnP サービスと Time Machine サービスを動作させるには、共有レベルで有効にする必要があります (4.9. Dashboard:Shares (共有))。

- SMB: SMB ネットワーク転送プロトコルを有効/無効にするには、この機能を切り替えます。
- AFP: AFP (Apple Filing Protocol) を有効/無効にするには、この機能を切り替えます。

次のページに続く >>

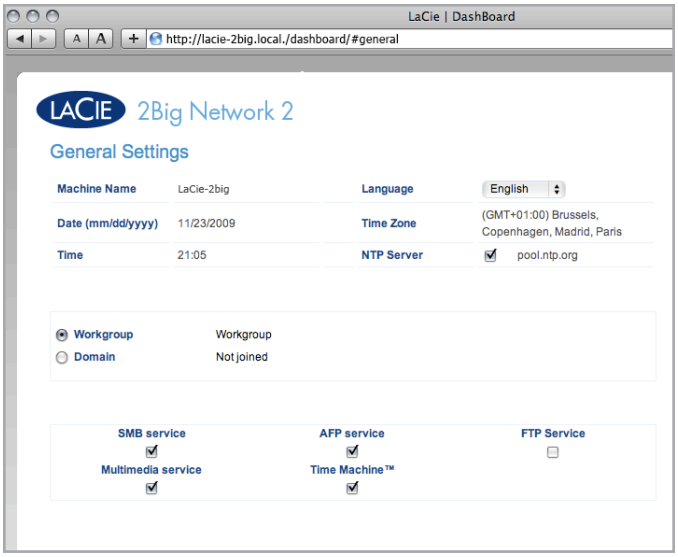


図 42

- FTP Service (FTP サービス): 2big Network 2 に FTP (File Transfer Protocol) 経由でアクセスできるようにするには、この機能を切り替えます。FTP アクセスについて詳しくは、「3.6. FTP を経由した共有へのアクセス」を参照してください。
- UPnP: この機能を使用すると、2big Network 2 は UPnP マルチメディア サーバーとして動作できます。UPnP サービスがアクティブになっている共有に格納されているファイルが、UPnP 対応のプレーヤー (携帯電話、コンピュータ、ゲーム コンソールなど) で再生できるようになります。UPnP デバイスに 2big Network 2 を使用してファイルのストリーミングを行う方法について詳しくは、「3.7. マルチメディア サーバー」を参照してください。2big Network 2 を iTunes Music Server (iTunes 音楽サーバー) として使用する方法について詳しくは、「3.8. iTunes Music Server」を参照してください。
- Time Machine:2big Network 2 は Apple の Time Machine に対応しています。Time Machine は、Macintosh を外付けボリュームに定期的にバックアップします。

技術面での注意:2big Network 2 に新しいコンテンツを追加した場合、UPnP/DLNA 認定プレーヤー/アダプタで使用できるようになるには、数分間かかる場合があります。

4.6.1. Active Directory

この機能を使用すると、2big Network 2 を Windows ドメインに参加させることができます。接続すると、ドメインに既存のユーザー/パスワードは 2big Network 2 によって認識され、Dashboard で作成されたものと同様に扱われます。2big Network 2 の共有に対するドメイン ユーザーのアクセスは、[Users (ユーザー)] ページを使用して割り当てることができます。

共有に接続するには、[Domain (ドメイン)] ボックスをクリックし、[Fully Qualified Domain Name (完全修飾ドメイン名)]、[Admin login (管理者ログイン)]、[Admin password (管理者パスワード)] を入力します。より複雑なネットワーク構成の場合は、[Advanced Criteria (詳細設定)] の下向き矢印をクリックし、[Server name (サーバー名)] と [IP address (IP アドレス)] を入力します (図 43)。

ドメインから脱退するには、[Leave (脱退)] ボタンをクリックし、管理者のユーザー名とパスワードを入力して認証を受けます (図 44)。

接続すると、Dashboard の [Users (ユーザー)] ページに、関連付けられたドメイン ユーザーの一覧が表示されます (これらのユーザーは、パスワードの代わりに Domain (ドメイン) という語が表示されるため、これで識別できます)。

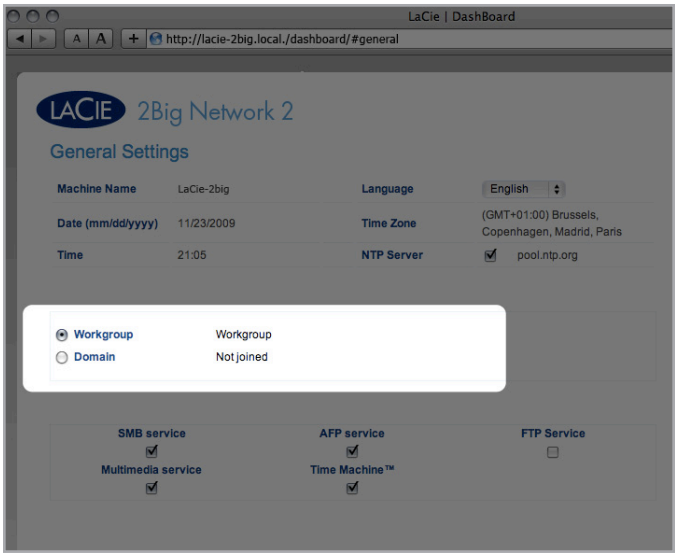


図 43

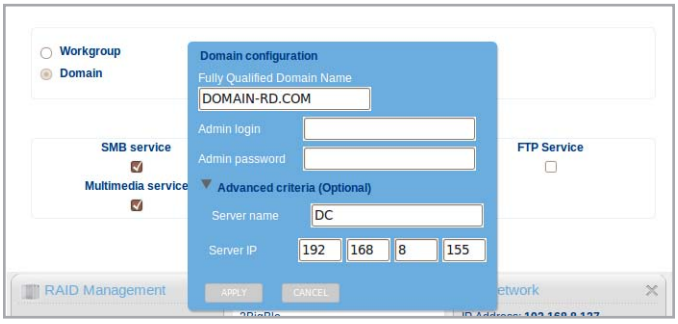


図 44

4.7. Dashboard:Users (ユーザー)

このページでは、ユーザー　アカウントを管理できます。ユーザー管理の関連作業を行う方法について、以下に説明します（図 45)。

ユーザー データは、表に編成されます。

- [Admin (管理者)] 欄の X 印は、そのユーザーに管理者権限が付与されていることを示します。
- [Shares (共有)] 欄の数字は、ユーザーに割り当てられている共有の数を示します。
- [Groups （グループ)] 欄の数字は、ユーザーが属しているグループの数を示します。
- [Domain （ドメイン)] 欄の丸印は、ドメインに参加したときに継承されたユーザーであるかどうかを示します。

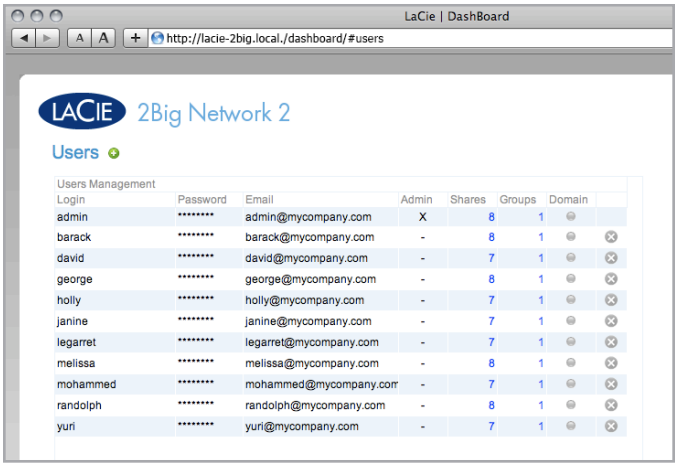


図 45

4.7.1. Adding a New User (新規ユーザーの追加)

1. ページ タイトルの横にある緑色のプラス記号 ("Users accounts" (ユーザー アカウント)) をクリックします。
2. 開いたボックスに、ユーザー名　(文字（大文字・小文字を区別）、数字、ハイフン、アンダースコアを使用して　4 ～ 20 文字まで入力できます。その他の記号、句読点、スペースは使用できません。ハイフンおよびアンダースコアを始めと終わりに使用しないでください。)、パスワード（4 ～ 20 文字まで入力できます)、パスワードの確認、オプションのフィールド (電子メール アドレス、管理者アカウントのオン/オフ設定) を入力します(図 46)。ユーザーに管理者権限を付与するには、[Admin account （管理者アカウント)] ボックスをクリックします。
3. 右側の緑色のプラス記号を押して、ユーザー　アカウントを作成します。

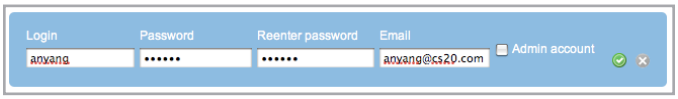


図 46

重要な注意:パスワードでは大文字と小文字が区別されます。

重要な情報:管理者パスワードは最低 4 文字であることが必要です。

技術面での注意:電子メール アドレスを入力すると、2big Network 2 が自動的に送信するユーザー　アカウントについての通知をユーザーが受け取れるようになります。詳しくは、「4.13.1. Email Notification Events (eメール通知出来事)」を参照してください。

4.7.2. ユーザーの削除

1. 表のユーザー一覧の右側にある灰色の「X」をクリックします。
2. 確認ボックスで、[Delete (削除)] をクリックします (図 47)。

4.7.3. Editing a User (ユーザーの編集)

1. ユーザーの表にある任意のフィールドでテキストをクリックすると、値を変更できます (図 48)。

注意:割り当ての容量を削減すると、データが削除される場合があります。

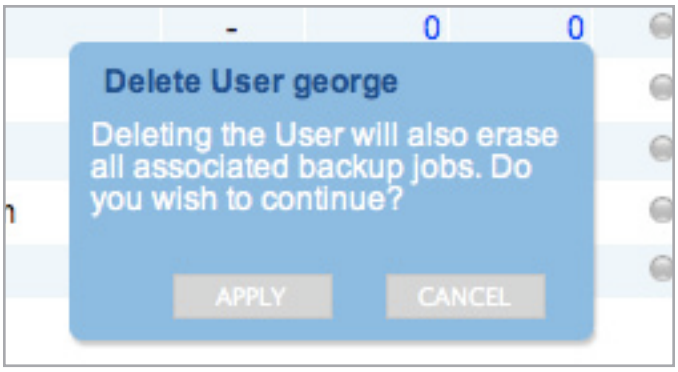


図 47

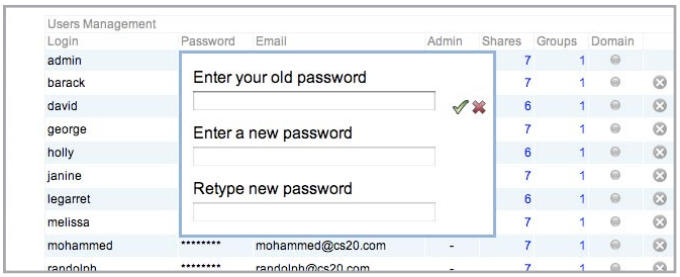


図 48

4.8. Dashboard:Groups (グループ)

管理者は、このページを使用してグループを管理できます。グループを使用すると、ユーザー管理および共有へのアクセスが簡単になります。管理者は、個別にではなく、グループ全体に対するアクセス権を変更できます。

このページでは、管理者はグループの作成、変更、削除を行うことができます。グループにユーザーを追加することも可能です。

技術面での注意:ユーザーは複数のグループに属することができます。

技術面での注意:ユーザー個人に割り当てらてたアクセス権と、そのユーザーが属しているグループに割り当てらてたアクセス権に矛盾がある場合は、許容される権限の範囲が広い方のアクセス権が優先されます。例えば、共有に対して "Backup (バックアップ)" というアクセス権を持つユーザーが、このアクセス権を付与されていないグループに属している場合でも、ユーザーは "Backup (バックアップ)" へのアクセス権を使用できます (右図を参照)。

4.8.1. 新しいグループの追加

新しいグループを作成するには、緑色のプラス記号をクリックし、グループ名と説明 (オプション) を入力します (図 50)。

4.8.2. グループの編集

フィールドをクリックして入力することで、グループ名や説明を変更できます。

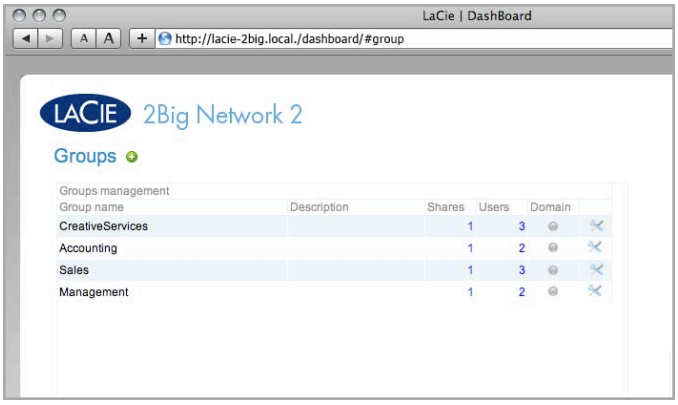


図 49

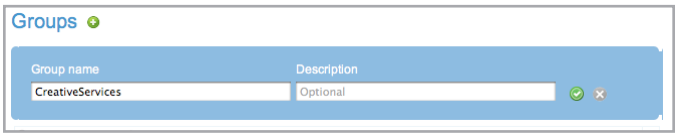


図 50

ユーザー許可	グループ許可	アクセス
読み取り / 書き込み	読み取り / 書き込みアクセス	R/W
読み取り / 書き込み	読み取り専用アクセス	R/W
読み取り / 書き込み	アクセスなし	R/W
読み取り専用	読み取り / 書き込みアクセス	R/W
読み取り専用	読み取り専用アクセス	RO
読み取り専用	アクセスなし	RO
アクセスなし	読み取り / 書き込みアクセス	R/W
アクセスなし	読み取り専用アクセス	RO
アクセスなし	アクセスなし	該当せず

4.8.3. グループの削除

グループを削除するには、グループ一覧の右側にある編集アイコンをクリックします (図 51)。表示されたウィンドウで、[Delete this group (このグループを削除)] をクリックします。ダイアログ ウィンドウで削除を確認します (図 52)。この操作を行っても、グループに割り当てられているユーザーは削除されません。

4.8.4. グループへのユーザーの追加/グループからのユーザーの削除

グループにユーザーを追加/グループからユーザーを削除するには、グループ一覧の右側にある編集アイコンをクリックし、[Manage users (ユーザーの管理)] を選択します (図 53)。ユーザーを追加するには、[Users (ユーザー)] 欄で該当のユーザーを選択し、追加ボタンをクリックします。ユーザーを削除するには、[Members (メンバー)] 欄で該当のユーザーを選択し、削除ボタンをクリックします。複数の項目を選択するには、Ctrl キー (Windows) または Command キー (Mac) を押しながら選択します。

[Shares (共有)] ページを使用して、共有にグループのアクセス権を割り当てることができます。

図 51

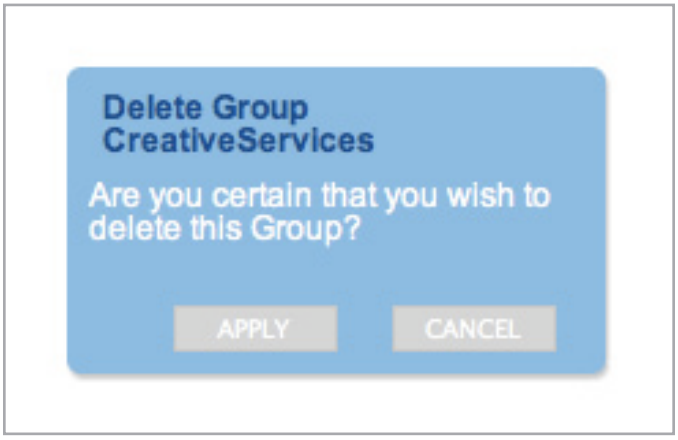


図 52

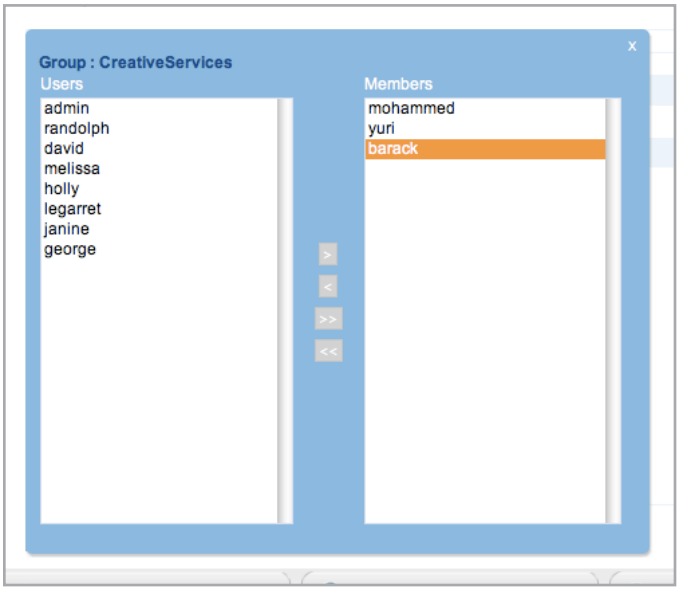


図 53

4.9. Dashboard:Shares (共有)

Shares (ネットワーク フォルダ) は、2big Network 2 のストレージ容量を構成します。出荷時の状態で、Share (共有) と Public (パブリック) の 2 つの共有が構成されています。USBShare は、USB 接続にストレージ容量を割り当てたときに自動的に作成されます。管理者は、Dashboard の [Shares (共有)] ページを使用して、ユーザーおよびグループに対してクオータとアクセス権を割り当てることができます。また、共有レベルのアクセス プロトコルを切り替えることも可能です (図 54)。

技術面での注意:本製品を使用するために共有を作成する必要はありません。デフォルトの Share (共有) または Public (パブリック) を使用してください。

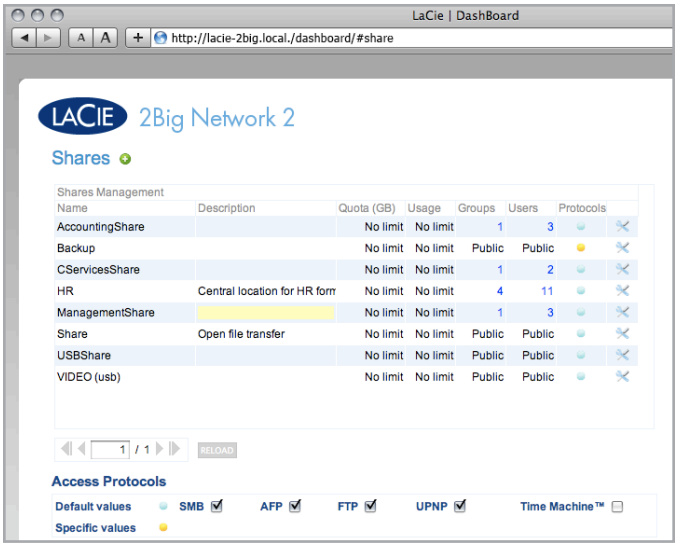


図 54

4.9.1. 新しい共有の追加

新しい共有を作成するには、緑色のプラス記号をクリックし、グループ名、説明 (オプション)、およびクオータ (オプション) を入力します。クオータを設定しないと、共有に割り当てられるサイズは無制限になります (ハード ディスクの空き領域がなくなるまで)。

次に、共有をパブリックにするか、プライベートにするかを決定します。パブリックにすると、すべてのユーザーおよびゲストがこの共有に対して読み取り/書き込みアクセス権を持つことになります。

重要な情報:[Public (パブリック)] チェック ボックスをオンにしないと、アクセス権を割り当てない限り、この共有に対してアクセス権を持つユーザーは存在しないことになります。

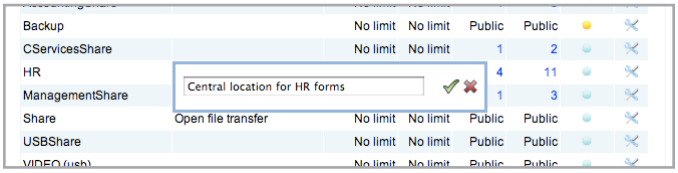


図 55

4.9.2. 共有の変更

共有の名前、説明、またはクオータを変更するには、該当のフィールドをクリックして入力します (図 55)。アクセス権の変更方法については、「4.9.4. ユーザー/グループに対するアクセス権の設定/変更」を参照してください。

図 56

4.9.3. 共有の削除

共有を削除するには、共有一覧の右側にある編集アイコンをクリックします。表示されたウィンドウで、[Delete this Share (この共有を削除)] をクリックします。ダイアログ ウィンドウで削除を確認します (図 56)。共有を削除すると、対象の共有に保存されているすべてのファイルが消去されます。

4.9.4. ユーザー/グループに対するアクセス権の設定/変更

ユーザーやグループの共有に対するアクセス権を変更するには、次の手順に従います (「図 57」を参照)。

- (プライベート共有に対する) ユーザー アクセス権の変更:共有一覧の右側にある編集アイコンをクリックし、[Manage User Access (ユーザー アクセス権の管理)] を選択します。表示されたウィンドウで、[Read Write (読み取り/書き込み)] または [Read Only (読み取り専用)] 欄でユーザーを選択し、追加ボタンをクリックします。ユーザーを削除するには、[Members (メンバー)] 欄で該当のユーザーを選択し、削除ボタンをクリックします。

技術面での注意:[Grant read access to Guest and System users (ゲストおよびシステム ユーザーに読み取りアクセス権を付与する)] を選択すると、登録されているユーザーだけでなく (ゲストを含む) すべてのユーザーが、共有に対して読み取り専用のアクセスを実行できるようになります。この設定を行うと、Shares (共有) テーブルで、共有へのアクセス権を持つユーザー数の横に "+" 記号が表示されます。

- グループ アクセス権の変更:共有一覧の右側にある編集アイコンをクリックし、[Manage Group Access (グループ アクセス権の管理)] を選択します。左側の欄にある [Read Write (読み取り/書き込み)] または [Read Only (読み取り専用)] ボックスでグループを選択し、追加ボタンをクリックします。グループを削除するには、右側にある欄で該当のグループを選択し、削除ボタンをクリックします。
- 共有をプライベートまたはパブリックに設定するには:共有一覧の右側にある編集アイコンをクリックし、[Change share to public (共有をパブリックに変更)] または [Change share to private (共有をプライベートに変更)] を選択します。

4.9.5. アクセス権について

- "読み取り専用" は、すべてのユーザーがファイルを表示したり開いたりすることができますが、共有にファイルをコピーできるのは管理者に限定されます (右表を参照)。
- "読み取り/書き込み" は、すべてのユーザーがファイルの表示、変更、共有へのコピーを行うことができます。

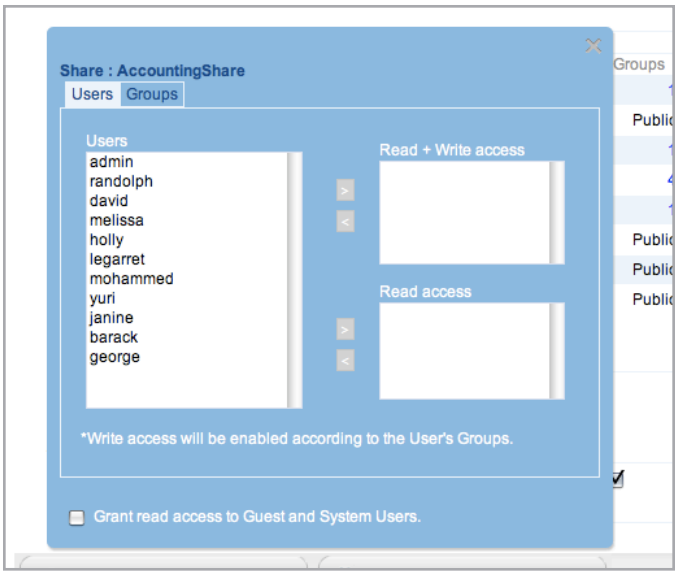
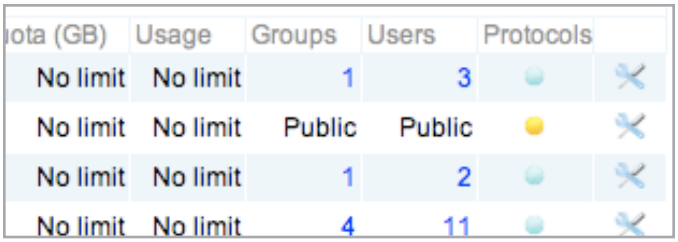


図 57

4.9.6. 共有レベルのアクセス プロトコルの指定

[Protocols (プロトコル)] 欄で丸印をクリックすると、対象の共有でアクティブになっているアクセス　プロトコルを変更できます。デフォルトでは、新しい共有では　SMB、AFP、FTP が有効に設定されます。共有で UPnP/DLNA デバイスにファイルを提供したり、共有を Time Machine のターゲットとして動作させたりするには、[Protocols (プロトコル)] 欄で丸印をクリックして、これらのプロトコルをアクティブにします。共有レベルでデフォルトの設定が上書きされると、[Services (サービス)] 欄の丸印が青色から黄色に変わります (図 58)。



ıota (GB)	Usage	Groups	Users	Protocols	
No limit	No limit	1	3		
No limit	No limit	Public	Public		
No limit	No limit	1	2		
No limit	No limit	4	11		

図 58

4.10. Dashboard:ネットワーク

このページでは、2big Network 2 のネットワーク設定を変更できます。このページには、[Standard (標準)] と [Advanced (詳細)] の 2 つのタブがあります。

4.10.1. 標準設定

Configure using DHCP (DHCP を使用した構成) または Configure manually (手動で構成):ネットワークで DHCP が有効になっている場合 (ほとんどの消費者向けネットワークでは有効)、2big Network 2 が自動的に IP アドレスおよびその他の値を割り当てます。その結果、ほとんどのユーザーでは表にすでに値が記入されています。[Configure Manually (手動で構成)] を選択すると、表の値を変更できます。

Automatic port forward (自動ポート転送):インターネット経由で 2big Network 2 にリモート アクセスするには、ルータで特定のポートを開いて正常に通信できるようにする必要があります。このボックスをオンにしてポート転送を有効にします。自動ポート転送には UPnP-IGD/NAT-PMP が使用されます (ルータが対応している場合)。

技術面での注意:次のポートの場合は、正常な通信を実現するため、転送を行う必要があります:21 (FTP) および 80 (HTTP)。

重要な情報:自動ポート転送を有効にすると、パブリック共有は FTP 経由でのアクセスが可能になります (読み取り/書き込み)。

Dynamic IP Resolution (動的 IP 解決):サードパーティの動的 DNS サービスを使用して、2big Network 2 にリモート アクセスするための覚えやすい URL を作成できます。このサービスは無料であり、加入は不要です。次のステップに従います:

1. 動的 DNS サービス プロバイダ (DYNDNS.com など) のサイトに移動します。
2. アカウントの作成
3. 2big Network 2 の IP アドレスを入力し、ホスト名 (たとえば smithfamily.dyndns.org) を作成します。
4. Dashboard で [Network (ネットワーク)] ページを開き、設定したサービス　プロバイダ、ユーザー名、ホスト名、パスワードを入力します。
5. [Apply] をクリックします。
6. 任意のインターネット接続から、Web　ブラウザを開き、ホスト名を入力します (図 60)。2big Network 2 ログインページが開きます。

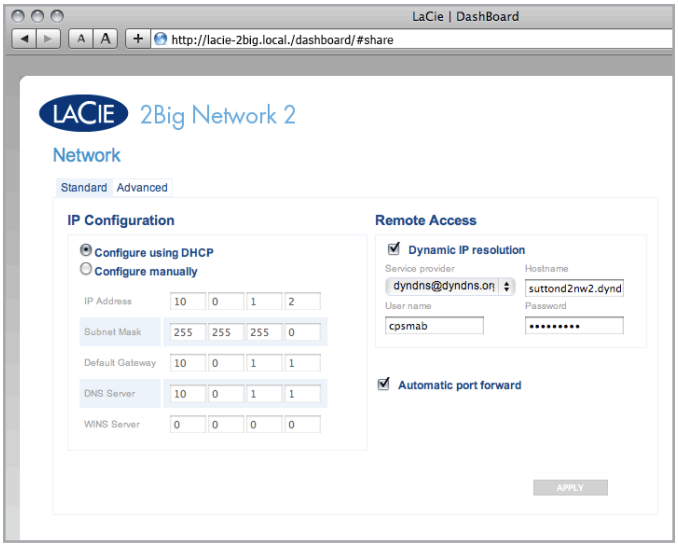


図 59

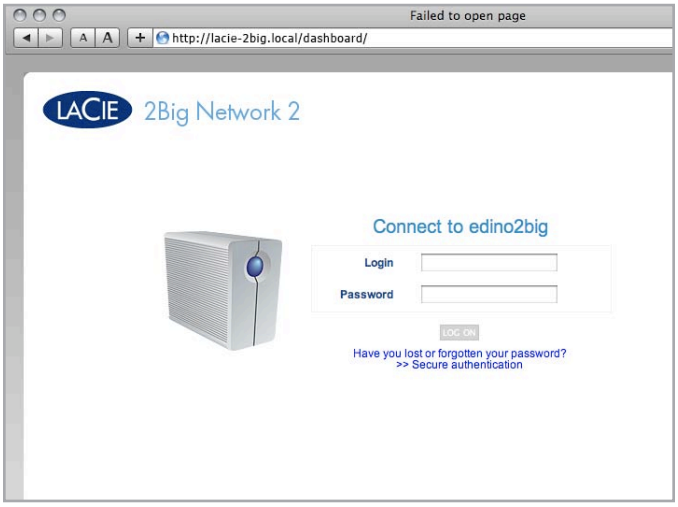


図 60

4.10.2. 詳細設定

Proxy Configuration (プロキシの構成):2big Network 2 は、プロキシ　サーバーに接続するように構成できます。サーバーの URL、ポート、オプションの認証情報を入力し、[Apply　(適用)] をクリックします。

SMTP Configuration (SMTP 構成):2big Network 2 が警告メールを確実にユーザーに送信するようにするには、SMTP　設定を構成します。[Send a verification email (検証用の電子メールを送信)] ボックスを選択して、警告システムが機能することを確認します。

上記の設定を変更したら、[Apply (適用)] ボタンをクリックします。

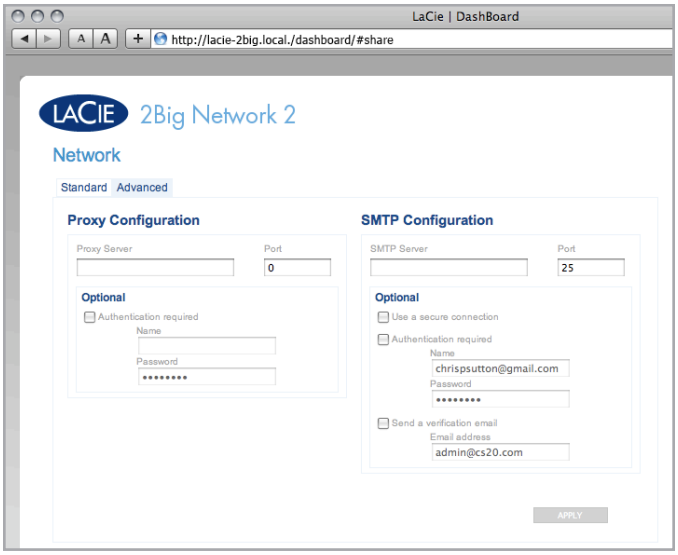


図 61

4.11. Dashboard:ドライブの情報

このページでは、ディスクの使用量についての情報を表示し、ドライブの再フォーマットを行えます。

4.11.1. 2big Network 2 のフォーマット

上部の [Format (フォーマット)] ボタン (図 62、a) をクリックすると、ディスク上のすべてのデータ (USBShare を含みます) が消去され、ディスクのフォーマットが行われます。正面のポートに接続された USB または eSATA ハード ディスクのデータには影響しません。下部の [Format (フォーマット)] ボタン (図 62、b) をクリックすると、USBShare だけがフォーマットされます。

再フォーマットするには:

1. [FORMAT (フォーマット)] ボタンをクリックします。
2. 表示された青色のウィンドウで、[FORMAT (フォーマット)] ボタンをクリックして確認します。

注意:フォーマットすると、ドライブ上の全データが消去されます (ただし、ユーザーや設定は削除されません)。続行する前に、別のボリュームにすべてのデータのバックアップを取るようにしてください。USBShare のフォーマットを行うとき、最初に別の共有にバックアップする場合は、SMB/AFP (Mac の場合は [Finder] ウィンドウ、Windows の場合は [エクスプローラ] ウィンドウ) を使うのではなく、File Browser (ファイル ブラウザ) (3.3. ファイル ブラウザを使用しての共有へのアクセス) を使用することをお勧めします。 LaCie では、フォーマット中のデータ損失に対する責任は負いかねます

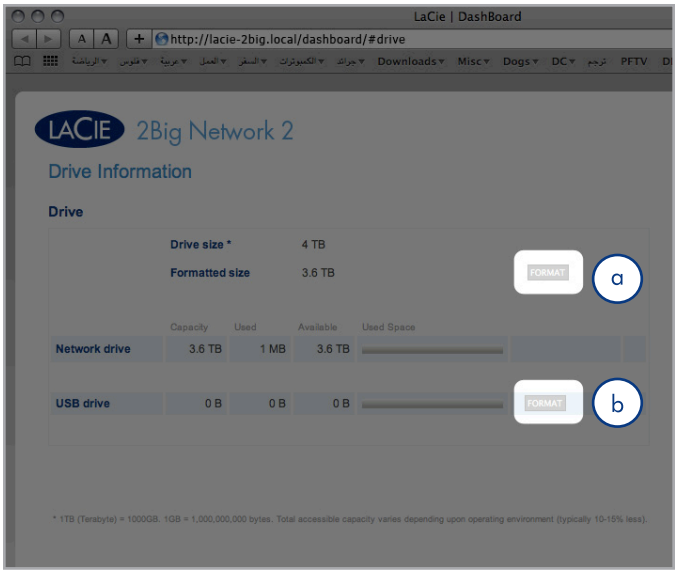


図 62

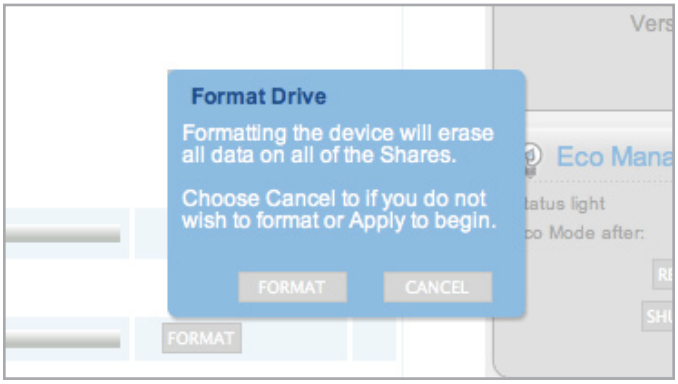


図 63

4.11.2. Modifying the USB Share Capacity (USBShare の容量変更)

[USB Drive (USB ドライブ)] の下にある [Capacity (容量)] に表示されている数字をクリックして、USB　アクセスに割り当てる容量を変更します。このサイズは、0 GB ～ 500 GB の間で変更できます (デフォルトは 0 GB) (図 64)。

共有のサイズを削減すると、ボリュームは自動的に再フォーマットされ、そのボリュームにあるすべてのデータが消去されます。続行するには、ポップアップ　ウィンドウで選択を確定します。

USB 共有サイズを増やす場合は、、[USB Drive (USB ドライブ)] の下にある [Format (フォーマット)] ボタンをクリックして共有をフォーマットする必要があります。

重要な情報:オペレーティング システムのネイティブ ディスク ユーティリティを使用して USBShare を NTFS または HFS+ にフォーマットする場合を除き、USBShare のサイズを 128 GB を超えた値に設定しないことをお勧めします。

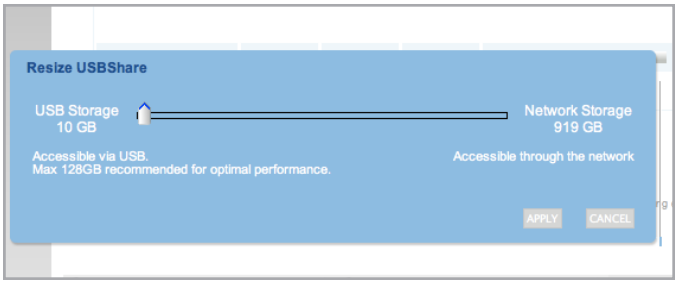


図 64

4.12. Dashboard:エコ管理

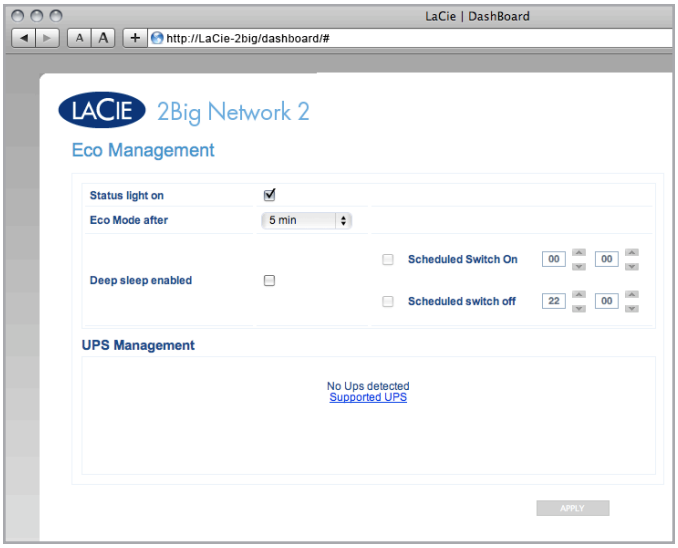


図 65

Status light on (ステータス ライト オン):青色のライトをオフにするには、このチェック　ボックスをオフにします。警告のインジケータは無効になりません。

Eco Mode after (経過時間後にエコ モード): 動作しない時間が一定の時間に達したときにディスクがエコ　モードになるようにします　(ディスクの回転が停止して節電されます)。ディスクにリクエストが送信されると、エコ　モードは自動的に解除されます。

Deep sleep enable (ディープ スリープを有効化): ディープ スリープでは、Shut Down (シャットダウン) ボタンをクリックするとドライブが非常に低エネルギー消費モードに変わります (以下を参照)。このモードは、正面の青色ボタンをクリックして押さえたままにすると有効になります。Deep Sleep Mode (ディープ　スリープ　モード)　からウェークアップするには、青色のボタンを押すか、LaCie Network Assistant の Wake on LAN 機能を使用します (「4.12.2. Wake on LAN」を参照)。

重要な情報: Deep Sleep Mode (ディープ スリープ モード) が有効になっている場合、[Shut Down (シャットダウン)] ボタン (以下を参照) をクリックすると、ディスクが Deep Sleep Mode (ディープ スリープ モード) になり、製品の電源は切断されません。

重要な情報:スリープ　モードが有効になると、ダウンロードやバックアップを含め、すべてのプロセスは終了されます。

Scheduled Switch On (予定された電源オン): エネルギーを節約するため、特定の時刻にディスクが Deep Sleep Mode (ディープ スリープ モード) になるように設定します。

Scheduled Switch Off (予定されたオフへの切り替え): エネルギーを節約するため、特定の時刻にディスクの Deep Sleep Mode (ディープ スリープ モード) が解除されるように設定します。

UPS Management (UPS 管理):詳しくは、「4.12.1. UPS 管理」を参照してください。

重要な情報:上記のパラメータを変更したら、[Apply　(適用)] ボタンをクリックします。

注記:多機能の電源ボタンについて詳しくは、「2.5.　電源ボタンの機能」を参照してください。

4.12.1. UPS 管理

2big Network 2 は UPS (無停電電源装置) 管理に対応しています。対応している UPS デバイスを 2big Network 2 の USB ポートに接続すると、Dashboard には、変更可能なパラメータが表示されます。

左側の欄の丸印は、電源ステータスを示します。

- ✦ 緑色であると、電源は電源ケーブル経由で供給されています。
- ✦ 灰色であると、電源は電源ケーブル経由で供給されていません。

右側の [Battery threshold level (%) (電池しきい値レベル (%))] では、2big Network 2 が自動的にスタンバイ モードになるときの電池の最低残量 (%) を指定できます。

電池を完全に使い果たしてディスクが自動的にシャットダウンされた場合、電源が再投入されたときにディスクが再起動するように選択できます。

注記:対応している UPS デバイスの一覧については、[Supported UPS (対応している UPS)] リンクをクリックしてください。

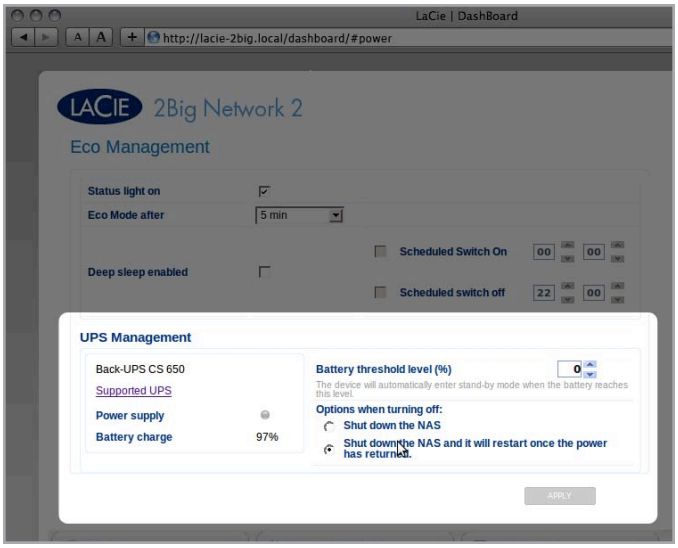


図 66

4.12.2. Wake on LAN

LaCie Network Assistant (LNA) を使用して 2big Network 2 をウェークアップできます。

WOL を初めて使用する場合:

1. ドライブの MAC アドレスが必要です。システム トレイ (Windows の場合) またはメニュー バー (Mac の場合) で LNA アイコンをクリックし、[Configuration Window...(構成ウィンドウ)] を選択します。MAC アドレスのテキストを選択してコピーします (図 67)。
2. システム トレイ (Windows の場合) またはメニュー バー (Mac の場合) で LNA アイコンをクリックし、[Wake Up a Device... (デバイスのウェークアップ)] を選択します。 (図 68).
3. MAC アドレスをフィールドに貼り付け、[Wake Up (ウェークアップ)] をクリックします。

2 回目以降の使用の場合:

1. システム トレイ (Windows の場合) またはメニュー バー (Mac の場合) で LNA アイコンをクリックし、[Wake Up a Device... (デバイスのウェークアップ)] を選択します。 (図 68).
2. メニューから、ウェークアップする NAS 製品を選択します (図 69)。
3. [Wake Up (ウェークアップ)] をクリックします。

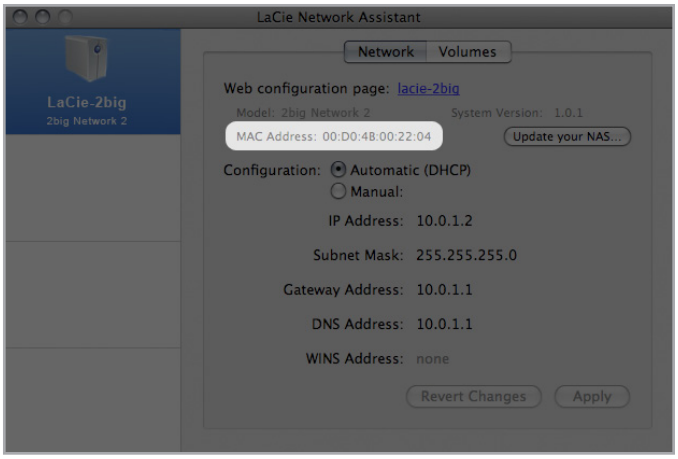


図 67

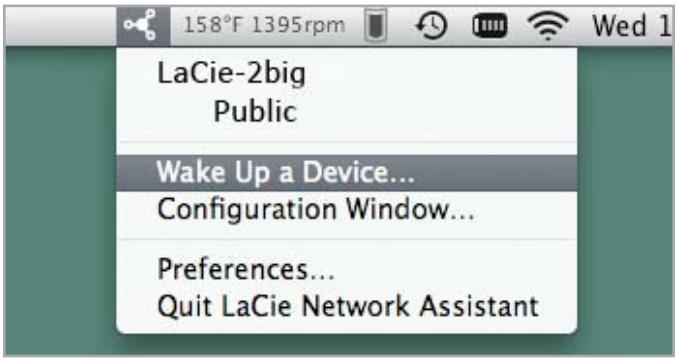


図 68

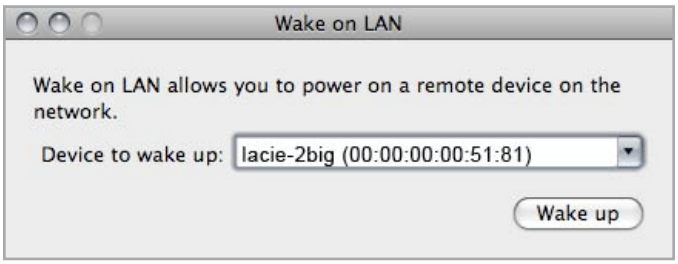

Wake on LAN
Wake on LAN allows you to power on a remote device on the network.
Device to wake up:
lacie-2big (00:00:00:00:51:81)
Wake up

図 69

4.13. Dashboard:Support (サポート)

サポート ページでは、システム ログにアクセスしたり、電子メール警告を設定したりすることができます。

System log (システム ログ):システム ログを消去するには、[Clear (クリア)] ボタンをクリックします。カスタマ サポートへの提供が必要な場合は、[Download (ダウンロード)] ボタンをクリックするとログをコンピュータに保存できます。

Alert notification (アラート通告): このボックスをオンにすると、2big Network 2 で重要なイベントが生じた場合に、管理者宛に自動的に電子メールが送信されます ([Users (ユーザー)] ページで電子メール アドレスが設定され、ドライブがインターネットに接続されて、SMTP 構成が設定されている場合)。詳しくは、「4.13.1. Email Notification Events (eメール通知出来事)」を参照してください。

Auto update (自動アップデート): を選択します (詳しくは、「4.18. 製品ソフトウェアのアップデート 」を参照)。

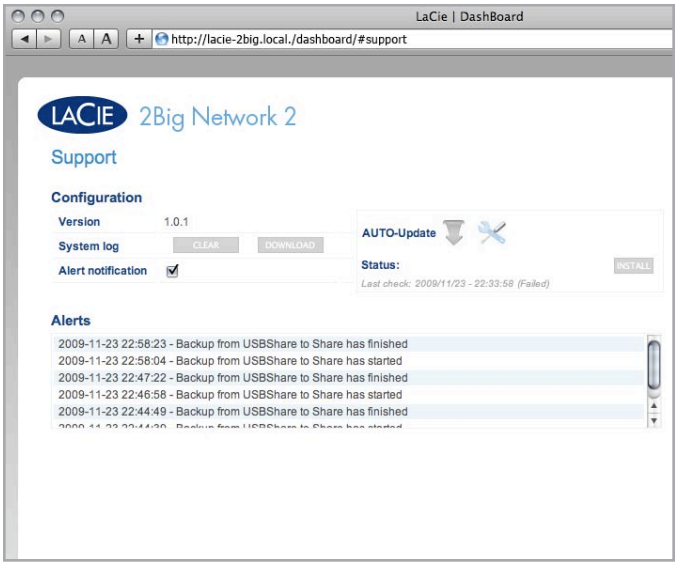


図 70

4.13.1. Email Notification Events (eメール通知出来事)

以下のイベントは、[User (ユーザー)] ページでメール アドレスを指定している場合に、メールの通知が出ます。

出来事識別子	説明	受け取り人
容量	使用可能な合計容量が 10GB 未満になった場合。	管理者
Quota event (割り当てに関する出来事)	ユーザーの共有が 80% を超えて満杯になった場合	Relevant user (関連するユーザー)
Download (ダウンロード)	ダウンロードが完了したとき、またはダウンロード エラーが生じたとき	ダウンロードのオーナーによっては、管理者またはユーザー
Backcup (バックアップ)	バックアップ エラーが発生した場合	管理者
Temperature (温度)	製品が最低 1 分間にわたり最大温度に達した場合	管理者
Password recovery (パスワード回収)	ユーザーがパスワードの回収を行ったとき	管理者またはユーザー (どちらがリクエストを出したかによる)
RAID イベント	構築が開始または完了したとき、スペア ディスクが稼働または故障したとき、またはディスクの故障または喪失が発生したとき	管理者

From: "2big Network 2.0 - LaCie-2big" <jdoe@lacie.com>
Subject: **[LaCie] Password Recovery**
Date: June 9, 2009 5:40:47 PM GMT+03:00
To: jdoe@lacie.com

Host : LaCie-2big
Model : 2big Network 2.0
System Time : Tue, 09 Jun 2009 14:37:50

For password recovery Click here

==========
[This message is automatically generated by the LaCie email notification service]
www.lacie.com

図 71

4.14. Dashboard:Download (ダウンロード)

2big Network 2 Dashboard には、トレント ファイルをダウンロードできるトレント サーバーが搭載されています (図 72)。トレントについて詳しくは、以下を参照してください。

http://en.wikipedia.org/wiki/BitTorrent_protocol

1. まず、[Start Download Machine (ダウンロード マシンを起動)] ボタンをクリックします。
2. ダウンロードを開始するには、ページ　タイトルの横にある緑色のプラス記号をクリックします (図 73)。
3. トレント ソースがファイルであるか URL であるかを選択し、その後、ソースに移動します。
4. 送信先 (ダウンロードしたファイルを保存する共有) を選択し、[SUBMIT (送信)] をクリックします。
5. ファイルのダウンロードが開始されます (開始するまでに数分かかることがあります)。

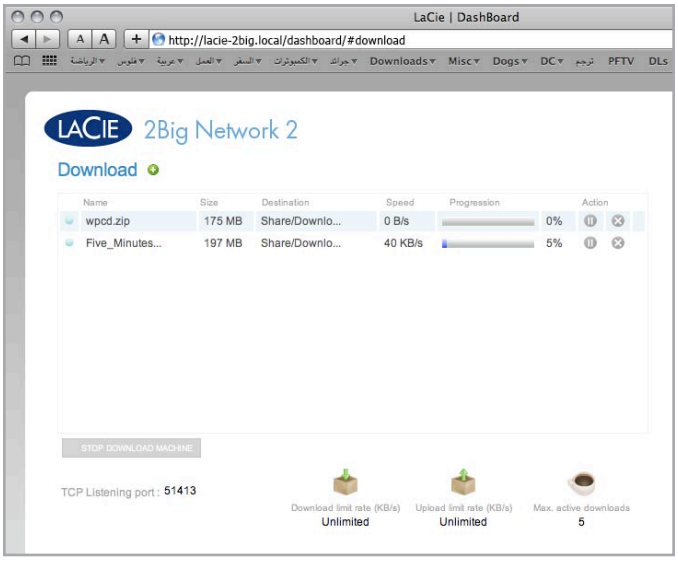


図 72

4.14.1. Download Page Settings (ページ設定のダウンロード)

技術面での注意:ダウンロード　マネージャーを利用できるのは管理者だけです。

ダウンロード一覧の下に、いくつかの設定があります (図 74)。

TCP Listening port (TCP リスニング ポート): トレント サービスが実行されるルータ ポートを選択します。
Download limit rate (ダウンロード限度レート): 最大ダウンロード レートを制限するには、ここに数値を入力します。
Upload limit rate (アップロード限度レート): 最大アップロード レートを制限するには、ここに数値を入力します。
Max. active torrents (アクティブ トレントの最大数):ここに数値をタイプし、同時にダウンロード/アップロードできるトレントの数を制限します。制限しない場合はゼロ (0) を入力します。

技術面での注意:トレント クライアント サービスでは帯域幅とシステム　リソースが使用されるため、複数のダウンロードを同時に行うと、2big Network 2 のパフォーマンスに影響が及ぶ場合があります。また、ダウンロードが完了した後も、アップロードを行うなどトレントがアクティブになっている間はシステム リソースが引き続き使用されることがあります。

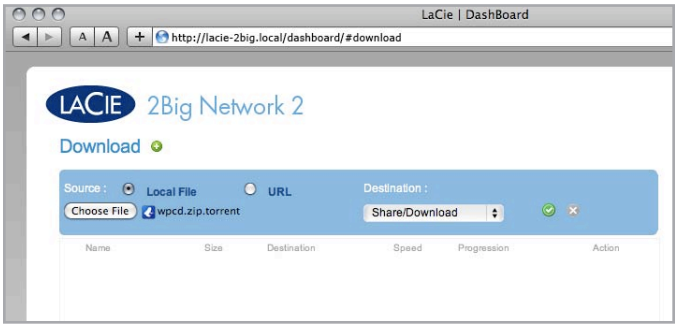


図 73

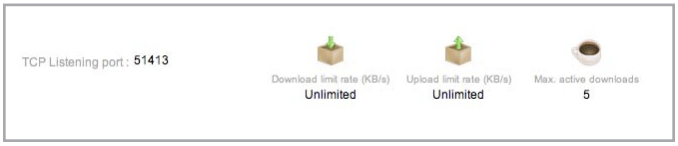


図 74

4.15. Dashboard:Copy (コピー)

管理者は、このページを使用してバックアップを設定できます (図　75)。バックアップを共有するには、バックアップを開始するユーザーが対象の共有に対する読み取り/書き込みアクセス権を持っているか、対象の共有がパブリックであることが必要です。

4.15.1. Creating a Backup Job (バックアップ ジョブの作成)

1. ページ タイトル ("Jobs List (ジョブ リスト)") の横にある緑色のプラス記号をクリックします (図 76)。
2. 左側のメニューの [Source (バックアップ元)] 共有と右側のメニューの [Destination (バックアップ先)] 共有を設定します。
3. 少し時間が経つと、バックアップが開始したことを知らせるメッセージが表示されます (図 77)。
4. バックアップが終了すると、メッセージが表示されます。

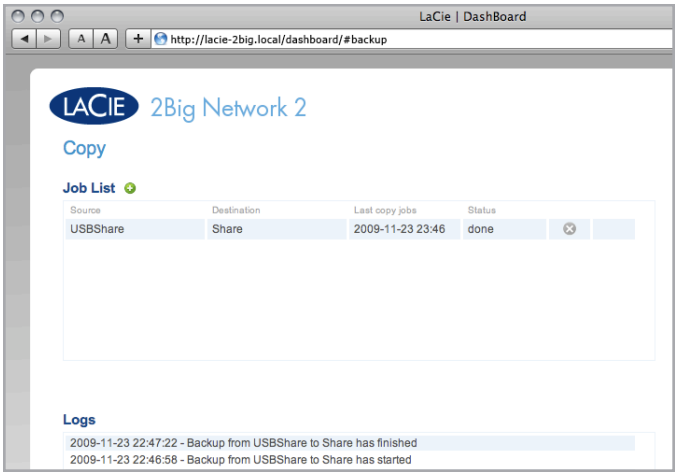


図 75

図 76

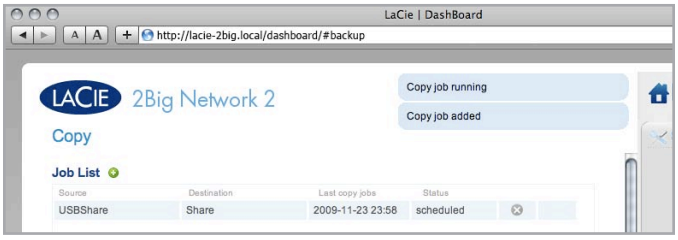


図 77

4.16. Dashboard:External Ports (外部ポート)

このページには、2big Network 2 の USB または eSATA の拡張ポートに接続されたデバイスについての情報が表示されます。

2big Network 2 には、プリンタ サーバーが搭載されています。有効にするには、Activate Printer Server (プリンタ サーバーを有効化) のチェックボックスをクリックします。正面の USB ポートを経由して、2big Network 2 に USB プリンタを接続できます。接続したら、プリンタがネットワーク全体で使用できるようになります。ホスト コンピュータに正しいプリンタ ドライバがインストールされている必要があります。

重要な注意:マルチ機能プリンタでは、印刷機能のみに対応しています。例えば、プリンタにスキャン機能がある場合、2big Network 2 に接続したときは、その機能は動作しません。

重要な情報: PostScript プリンタのみに対応しています。プリンタがこのページに表示されない場合は、プリンタが PostScript 印刷に対応していない可能性が高くなっています。これは、マルチ機能プリンタや写真プリンタで頻繁にあります。LaCie は、ネットワーク プリンタとして使用するためにプリンタが適切なプロトコルに対応していることを保証できません。

Multimedia Indexation (マルチメディア インデックス): DLNA デバイスから、2big Network 2 に接続されている外付けの USB または eSATA ハード ディスク上のファイルにアクセスできるようにする場合は、このボックスをオンにします。

USB または eSATA ハード ディスクを接続する方法について詳しくは、「4.16.1. 外付けハード ドライブの接続」を参照してください。

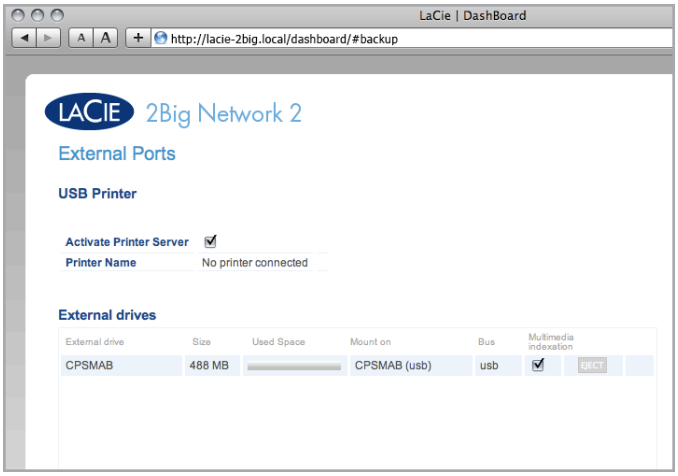


図 78

4.16.1. 外付けハード ドライブの接続

外付けの USB/eSATA ハード ディスクまたは USB キーを接続して、LaCie 2big Network 2 のデータをバックアップしたり、ストレージ容量を追加することができます。接続したハード ディスクは、共有フォルダと同様にアクセスできます。

技術面での注意:外付けの USB または eSATA ハード ディスクは、LaCie 2big Network 2 に対応しているシステム (MS-DOS (FAT32)、NTFS、HFS+ (non-journaled のみ)、EXT3、または XFS) のいずれかでフォーマットする必要があります。

外付けハード ディスクを接続するには、次の手順に従います。

1. LaCie 2big Network 2 がホーム ネットワークに接続されていることを確認します。
2. 外付けハード ディスクをオンにして、LaCie 2big Network 2 の USB ポート (タイプ A、図 79 を参照) に USB または eSATA ケーブルを接続します (図 79)。
3. 数秒すると、ディスクが LaCie Network Assistant と Dashboard に共有として表示されます。ハード ディスクのファイルにアクセスするには、通常の共有フォルダと同様に接続します (「3. ファイルのアクセスと転送」を参照) (接続された USB ハード ディスクは、常にパブリック共有であるため、すべてのユーザーに読み取り/書き込みアクセス権が付与されます)。

外付けハード ディスクを取り外すには、次の手順に従います。

接続した USB ハード ドライブのマウントを解除するには、[Eject (イジェクト)] ボタンをクリックします。

重要な注意:MS-DOS (FAT32) でフォーマットされた外付けドライブで対応している最大容量は、500 GB です。接続された外付けドライブがこの限度を超えている場合は、ドライブは 2big Network 2 で認識されません。

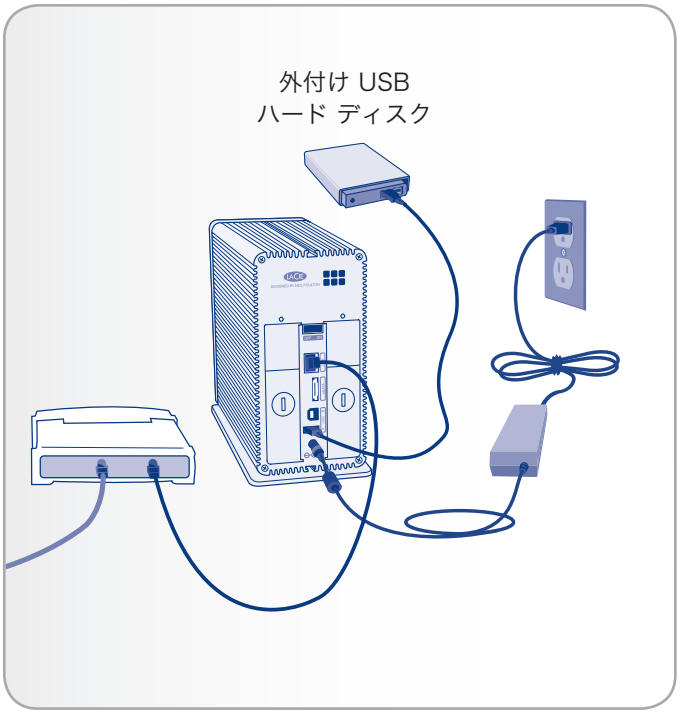


図 79

4.17. Dashboard:RAID

このページでは、RAID アレイの監視や変更を行うことができます (図 80)。

4.17.1. RAID モードの変更

RAID モードを変更するには、[Change (変更)] ボタンをクリックします。次に、RAID モードを選択し、[Apply (適用)] をクリックします。

注意:RAID モードを変更すると、LaCie 2big に保存されたすべてのデータが失われます。ディスクにデータを保存した場合は、次のステップに進む前にバックアップを取ってください。

技術面での注意: LaCie 2big の RAID モードを変更する前に、2big の RAID モードをよく理解するようにしてください。詳しくは、「4.17.2. RAID モードについて」を参照してください。

再構築時間:

次の表に、RAID 0 アレイから別のモードに変換する場合のおよその所要時間を示します。

新しいモード	合計サイズ	およその所要時間
RAID 1	1TB	2 時間
RAID 1	2TB	4 時間

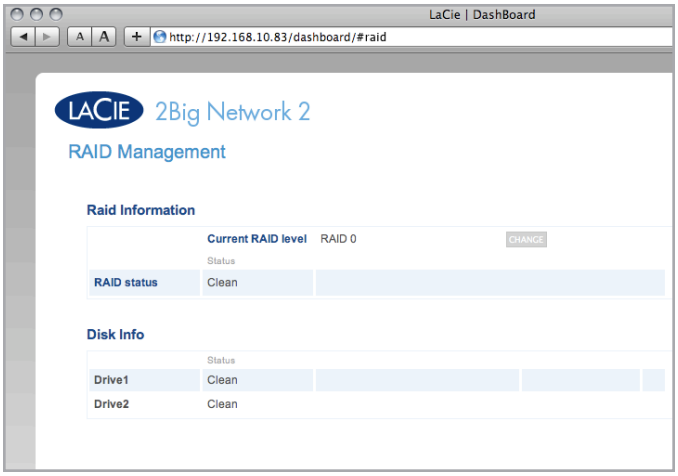


図 80

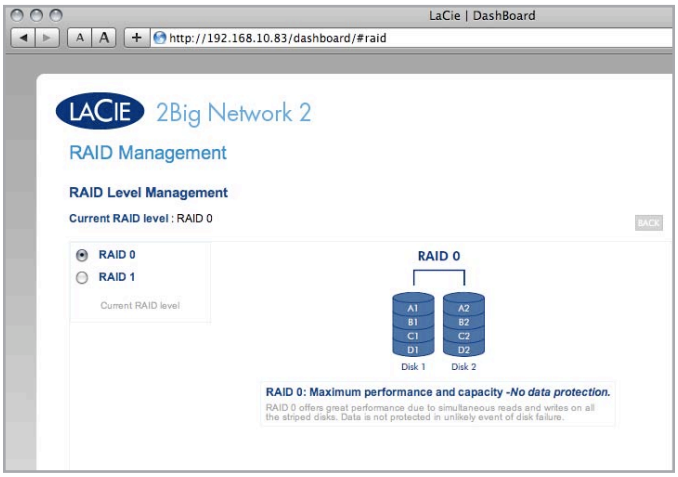


図 81

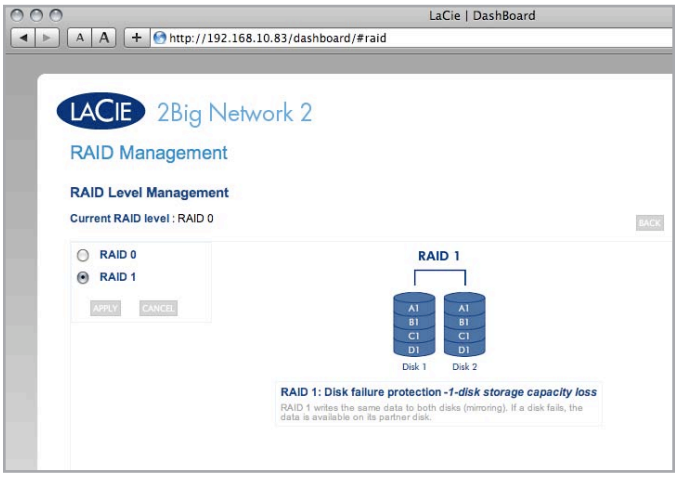


図 82

4.17.2. RAID モードについて

RAID0:RAID 0 (一部の LaCie デバイスでは Spanning モードと呼ばれています) は、最高速の RAID モードです。RAID 0 アレイでは、各ディスクの利用可能な容量が合計され、1 つの論理ボリュームがコンピュータにマウントされます (図 83)。最高のパフォーマンスが提供されますが、ディスクに障害が発生した場合の保護機能はありません。

注意:アレイの物理ディスクが 1 台でも故障すると、データの一部がすべてのディスクに書き込まれているため、すべてのディスクのデータがアクセス不能になります。

RAID1: RAID 1 は最低 2 台のディスクを必要とするセキュアな RAID モードであり、1 対のディスクで機能します (図 84)。RAID 1 は、1 台のディスクが故障した場合に最高のデータ安全性を提供しますが、データが 2 回書き込まれるため、書き込み時の性能は少し下がります。RAID 1 は、データの安全性がスピードよりも重要な場合に向いています。

RAID モード	容量	保護
RAID 0	100%	★★★★★
RAID 1	50%	★★★★★

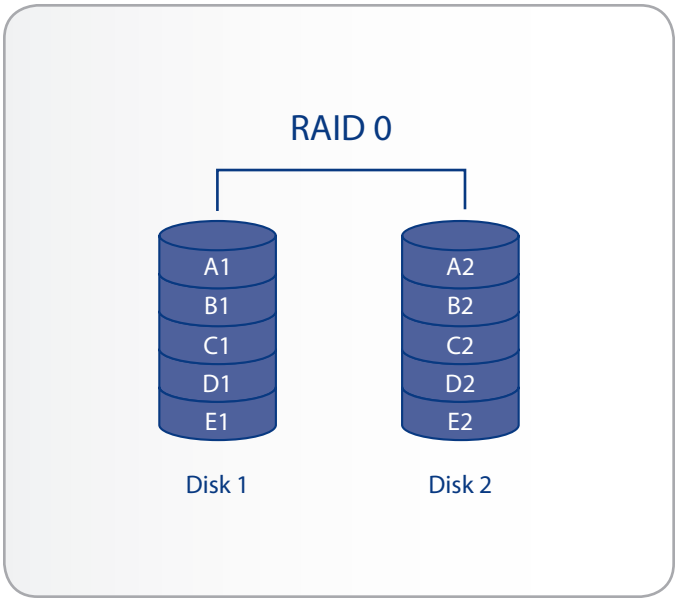


図 83

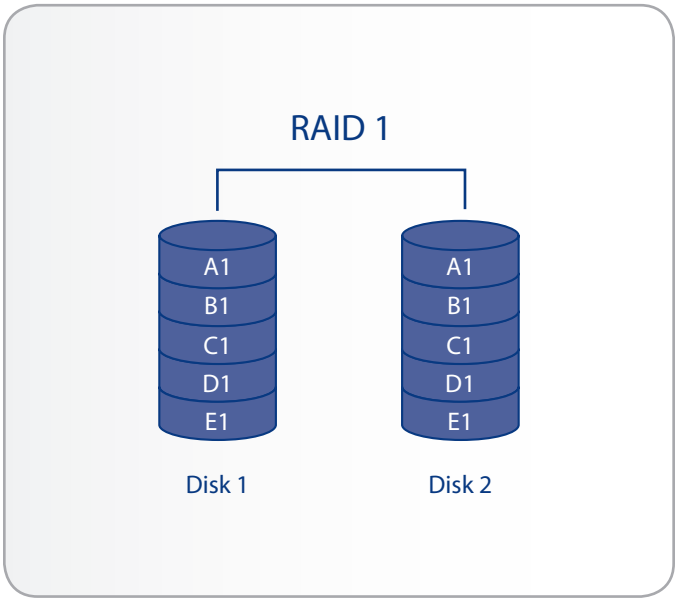


図 84

4.17.3. 新しいディスクのインストール

ディスクを取り外すには、次の手順に従います。

1. ドライブ　トレイがロックされている可能性があります。ロックを解除するには、ドライブ ベイ ロック用のキーを使用して、スロットが縦になるまでロックを回します (図 85)。
2. ドライブ　トレイのハンドルの後ろのスペースに指を入れて慎重にドライブ　トレイを引きながら、ディスクを完全に引き出します (図 86)。
3. ドライブ　トレイのハンドルをつかみ、慎重に取り外します (図 87)。

ディスクをインストールするには、次の手順に従います。

ディスクを交換するには 2 つの主な手順があります。まず、新しいディスクをインストールし、[Dashboard] > [RAID] ページ (以下を参照) で新しいディスクを初期化します。

注意: LaCie 2big Network 2 を連続使用した場合、ドライブが熱くなっている可能性があります。取り外しの際には、十分注意してください。

1. ドライブ トレイを注意しながら空のドライブ ベイに挿入します。ドライブ　トレイがほとんど完全に挿入され、抵抗を感じるようになったら、ディスクがその位置に正しく収まり、ドライブ トレイ ハンドルが 2big の背面とぴったり重なるまでしっかりとドライブ トレイ ハンドルを押します。
2. ドライブ ベイ ロック用のキーを使用してドライブをロックします。
3. [Dashboard] > [RAID] ページでは、システムで新しいディスクが認識されたことを知らせるメッセージが表示されます。 続行するには、[Claim (承認)] ボタンをクリックします。
4. 新しいディスクがスペアまたは RAID アレイの一部として追加され、再構築が開始します。

重要な情報: LaCie 2big Network 2 の個々のハード ディスクが故障した場合は、LaCie 販売店または LaCie カスタマ サポートにお問い合せください。ハード　ディスクが故障した際は、必ず LaCie の新しいハード ディスクと交換してください。

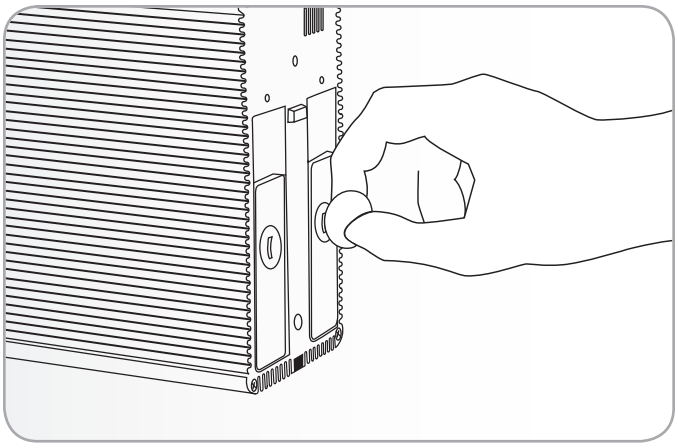


図 85

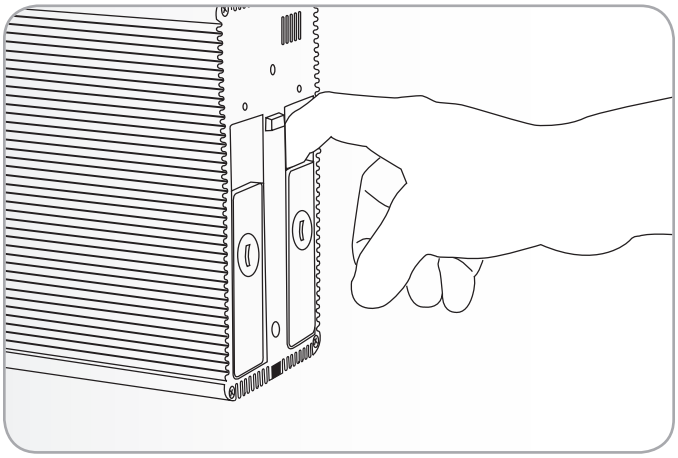


図 86

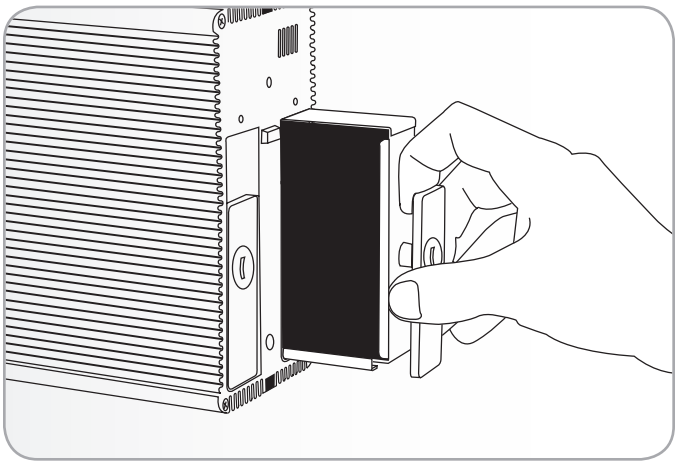


図 87

4.18. 製品ソフトウェアのアップデート

LaCie では、ネットワーク ハード ディスクのソフトウェアの改良や、新規機能の追加を行うことがあります。 アップデート情報について、次の説明をご覧ください。

「4.19. 工場出荷時の設定にリセット」の手順に従って操作すると、いつでも工場出荷時のデフォルト設定に戻すことができます。

4.18.1. 方法 1: Auto-Update (自動アップデート)

ネットワーク ハード ディスクは、デフォルトで、インターネット経由で最新のソフトウェア アップデートを取得するように構成されています。 製品の Dashboard の [Support (サポート)] ページにより、利用できるアップデートがあるかどうかがチェックされ、(メッセージで確認のうえ) インストールが行われます。

ディスクを手動でアップデートする場合や、制限されたネットワークを使用している場合は、LaCie Network Assistant (「4.18.2. 方法 2: LaCie Network Assistant Software を使用したアップデート」を参照) を使用してこの操作を実行できます。

1. [Dashboard] > [Support (サポート)] を開きます。
2. [Auto-Update (自動アップデート)] ボックスで、灰色の下向き矢印をクリックし、新しいアップデートがあるかどうかを確認します (図 88).
3. 利用できるアップデートがある場合は、自動的にダウンロードが始まります。
4. ダウンロードが完了したら、[Install (インストール)] ボタン (図 89) をクリックします。
5. ハード ディスクが再起動されます。この間、ハード ディスクは一時的にネットワークに表示されなくなります (図 90)。 再び表示されたら、[Dashboard] > [Support (サポート)] で新しいソフトウェア バージョンを確認できます。

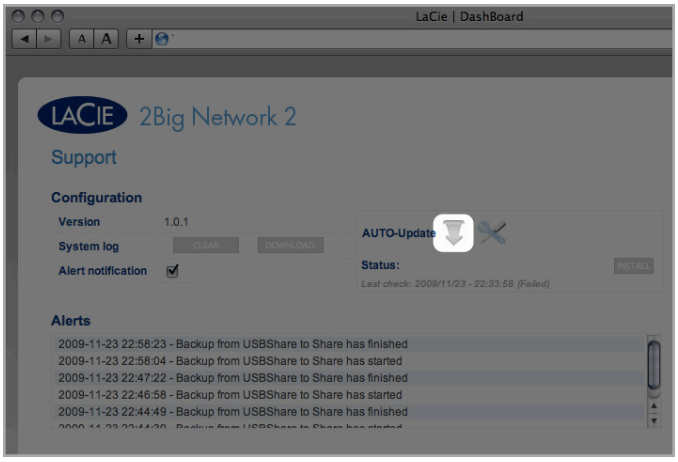


図 88

図 89

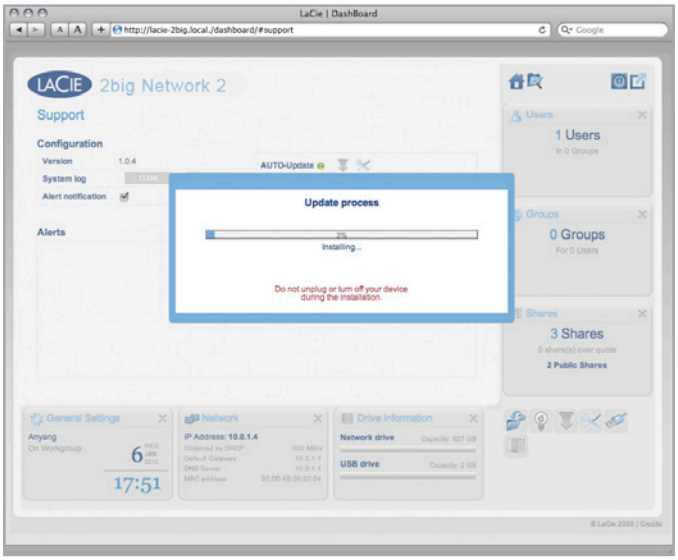


図 90

4.18.2. 方法 2: LaCie Network Assistant Software を使用したアップデート

このアップデート手順を使用すると、ハード ディスクに保存されている構成やファイルは削除されません。

LaCie Network Assistant を使用したアップデートでの推奨事項

- ✦ Ethernet ケーブルを使用して、PC または Mac をネットワークに接続します (ワイヤレス接続はオフにします)。
- ✦ ネットワーク上にいるユーザーが、NAS へのデータ転送を停止していることを確認します。
- ✦ ネットワーク 上の NAS (アップデート対象とする NAS を除く) を無効にします。
- ✦ アップデート対象の NAS にある共有への接続をすべて切断します。

1. 最新バージョンの LaCie Network Assistant (1.4.1 以降) を使用していることを確認します。 最新バージョンをダウンロードする場合は、以前のバージョンのソフトウェアをアンインストールします。
2. ここから、お使いの製品の最新のソフトウェア アップデートをダウンロードします。
3. LaCie Setup Assistant を実行します。
4. [Preferences (設定)] に移動し、[IPConf Support (IP-Conf サポート)] が無効になっていることを確認します (図 91)。
5. 左側に表示されるリストから製品を選択し、[Update your NAS (NAS の更新)] ボタンをクリックします (図 92). 管理者のユーザー名とパスワードを入力します。
6. ダウンロードしたアップデート パッケージ (.capsule ファイル) を参照し、ロードします (図 93)。
7. Continue... (続行...)] をクリックし、更新を開始します。Mac では、管理者パスワードの入力が必要になる場合があります。
8. アップデートが完了したら、正常に処理されたかどうかを確認します。 メニュー バー (Mac) またはタスク バー (Windows) の LNA ロゴをクリックし、[Configuration Window (構成ウィンドウ)] を選択します。 [Network (ネットワーク)] タブをクリックすると、システムのバージョンが表示されます。
9. 上記のボックスにネットワークに関する安全上の注意事項が表示されるのにもかかわらずアップデートに失敗する場合は、Ethernet ケーブルを使用してハード ディスクをコンピュータに直接接続して再試行してください。

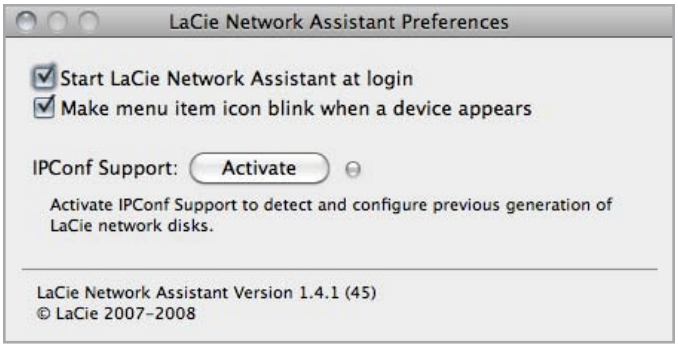


図 91

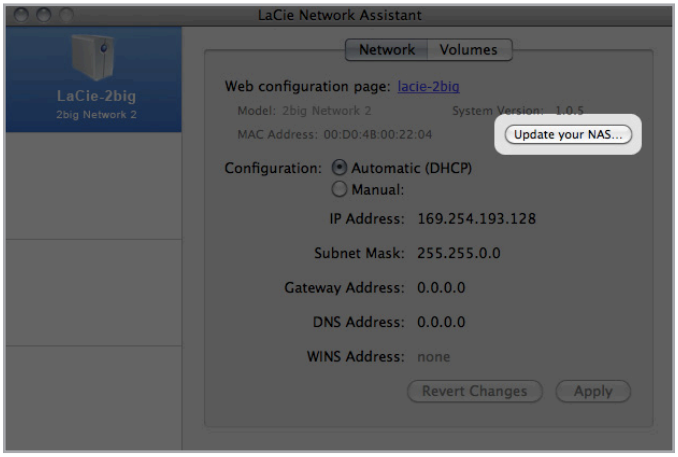


図 92

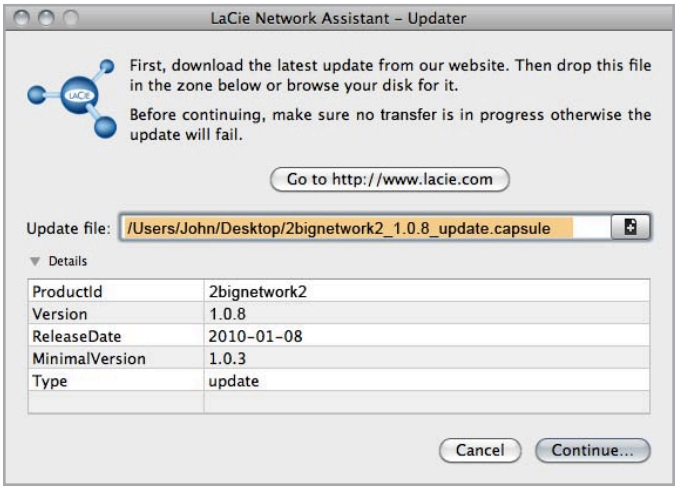


図 93

4.19. 工場出荷時の設定にリセット

何らかの理由で 2big Network 2 の設定を工場出荷時の設定にリセットする場合は、次の手順に従います。

注意:本製品をリセットすると、すべての Dashboard データ (ユーザー、グループ、共有、および設定) が消去されます。

注意:デフォルトにリセットすると、すべてのファイルは Share (共有) の Recovery (リカバリ) というフォルダに移動されます。このフォルダは、デフォルトで、管理者だけが使用できるようになっています。

1. 電源ボタンがオフになっていることを確認してください。
2. 正面の青色ボタンを押し、押さえたままにします。
3. 正面の青色ボタンを押し続けると、電源ボタンがオンになります。正面の青色ボタンが青色と赤色に点滅します。
4. 青色ボタンが赤色に点灯するまで、正面の青色ボタンを押し続けます。正面の青色ボタンを放します。青色に点滅します。
5. 点滅が停止したら、正面の青色のボタンを押します (押さえたままにしないでください)。ディスクが再起動します。

5. 技術情報

5.1. データ転送の最適化

データ転送とは、タスクを完了するデータの流れで、通常ストレージからコンピュータの RAM へ、またはストレージ デバイス間でデータを移動することを意味します。2big Network 2 などの外部ドライブ (Ethernet ケーブルではなく、USB ドライブ経由で接続する場合) を使用すると、データは USB インタフェースを介してドライブからコンピュータに転送されます。データはドライブの USB ポート (タイプ B) を介して送られ、USB ホストバス アダプタ インタフェースを介してコンピュータに渡されます。

USB

新たに機能強化された Hi-Speed USB 2.0 のパフォーマンスを引き出すには、コンピュータに Hi-Speed USB 2.0 ホストバス アダプタ カード (別売、またはコンピュータ メーカーによってシステムに組み込み済み) および適切なドライバが必要です。1 個以上の USB ポートを備えたこれらのホスト バス アダプタ カードは、コンピュータがカードを制御できる特別な Hi-Speed USB 2.0 ドライバを付属の上、出荷されています。ポートに接続された USB 2.0 デバイスを正常な速度で動作させるために、これらのドライバを必ずインストールしてください。

Mac OS X、Windows XP、Windows 7、または Windows Vista を実行中のコンピュータでは、Hi-Speed USB 2.0 デバイスおよびドライバが自動的に管理されます。

Hi-Speed USB 2.0 PCI または PC カードについて詳しくは、LaCie 販売代理店または LaCie カスタマ サポートにお問い合わせいただくか、当社 Web サイト www.lacie.jp をご覧ください。.

6. トラブルシューティング

LaCie 2big Network 2 が正常に動作しない場合は、以下のトラブルシューティングの説明を参照してください。また、当社ウェブサイト www.lacie.jp に掲載されている FAQ をご覧ください。FAQ の中から質問の回答が見つかる場合があります。また、ダウンロード ページも参照してください。最新のソフトウェア アップデートを入手できます。

www.lacie.jp/support/downloads

さらにサポートが必要な場合は、LaCie 販売代理店または LaCie テクニカル サポートにお問い合わせください (詳細は、「7.1. LaCie テクニカル サポートの連絡先」を参照してください)。

6.1. システム ログ

システム ログを使って、LaCie 2big Network 2 でのアクティビティのタイプ、日付、時刻、ソース、およびイベント ID を確認できます。さらに、LaCie のテクニカル サポートからの支援が必要な場合、このログが重要になります。詳しくは、「4.13. Dashboard:Support (サポート)」を参照してください。

6.2. マニュアルの更新

LaCie では、最新情報が掲載された包括的なユーザー マニュアルをお届けできるよう、常に努めています。新しいデバイスを迅速にインストールして様々な機能を利用できるように役立つ、使いやすいフォーマットをお客様に提供することが、当社の目標です。

お買い求めになった製品の構成がマニュアルに記載されていない場合は、当社 Web サイトをご覧いただき、最新バージョンのマニュアルをご確認ください。

www.lacie.jp

6.3. ネットワーク接続のトラブルシューティング

問題	質問	解決方法
USB 拡張ポートに接続した USB ドライブ/キーまたは USB プリンタが認識されない。	USB タイプ B を介してコンピュータに接続されていますか？	USB 拡張ポートに接続されたデバイス (ハード ディスクまたはプリンタ) は、USB ホスト ポートに USB ケーブルを接続すると自動的にマウントが解除されます。ハード ディスクまたはプリンタをアクセス可能にするには、ディスクをコンピュータから切断し、Ethernet ケーブルを使用してネットワークに接続します。
USB 拡張ポート (タイプ A) に USB ドライブを接続したが、ドライブがマウントせず、LNA にリストアップされていない。	USB ドライブが MS-DOS (FAT32) でフォーマットされており、500 GB を超えた容量になっていますか。	ドライブを別のフォーマットに再フォーマットします。
LaCie 2big Network 2 に接続された USB または eSATA ドライブがコンピュータにマウントされない。	eSATA USB ドライブの容量が 2 TB を超えていますか?	2TB より大きい容量のハード ディスクを LaCie 2big Network 2 に接続することはできません。
コンピュータがシステムを認識しない。	お使いのコンピュータは、最小システム要件を満たしていますか?	詳しくは、「1.1. 最小システム要件」を参照してください。
	システムの電源が接続され、ハードディスク正面の青色のライトがオンになっていますか?	電源が正しく接続されていること (「2.2. ステップ 2：Ethernet ケーブルの接続」を参照)、背面のボタンを押してシステムに電源を入れたこと、電源を接続したコンセントがオンになっていること、十分な電力が供給されていることを確認してください。
	デバイス正面の青色のライトが以上に長時間にわたり断続的に点滅していますか。	青色のライトが点滅する場合、または点灯しない場合は、電源に問題がある可能性を示しています。この場合は、LaCie 販売代理店または LaCie カスタマ サポートにお問い合わせください。
	正しい手順でインストールを行いましたか。	インストール手順を再度確認してください (2. ネットワークへの接続)。
	Ethernet ケーブルの両端がしっかりと取り付けられていますか。	Ethernet ケーブルを取り外し、10 秒経ってから再度接続してください。 インタフェース コネクタが正しく接続されていることを確認してください。Ethernet ケーブルは、一方向にしか挿入できません。向きが正しいことを確かめてください。 Ethernet コネクタが真っ直ぐで Ethernet ポートにしっかり取り付けられていることを確認してください。 LaCie 2big Network 2 のパッケージに付属していた Ethernet コードを使用してください。

次のページに続く >>

システムがネットワークに表示されない。	デフォルトでは、LaCie 2big Network 2 は DHCP サーバーから IP アドレスを取得するように構成されています。ご使用のネットワークが DHCP サーバーで管理されており、LaCie 2big Network 2 にアクセスできない場合は、DHCP サーバーのログを確認してください。IP アドレスを取得するには、LaCie Network Assistant を実行してください。これは、LaCie Storage Utilities CD-ROM に収録されています。DHCP サーバーが検出されない場合、本製品により APIPA が実行され、自身に IP アドレスが割り当てられます。この IP アドレスを変更するには、LaCie Netowkr Assistant を使用してください。	
	IP アドレスが正しく設定されていますか。	詳細については、「4.10. Dashboard:ネットワーク」のセクションを参照してください。
	ネットワークでは、固定 IP アドレスをデバイスに割り当てることが必要ですか。	固定 IP アドレスを割り当てる方法については、「2.6. 固定 IP アドレスを割り当てる」を参照してください。
ユーザーに LaCie 2big Network 2 へのアクセス権がありません。	管理者は、そのユーザー用のアカウントを作成しましたか。	別のユーザーが LaCie 2big Network 2 にアクセスするためには、次の 2 つの条件が満たされる必要があります。1) 管理者がユーザーを作成し、ユーザーにユーザー名とパスワードを付与すること。2) LaCie 2big Network 2 を Ethernet 経由でネットワークに接続し、ユーザーがドライブにアクセスできるようになっていること。
自分のアカウントにアクセスできない。ログインとパスワードを入力すると、エラー メッセージが出力される。	パスワードは正しく入力されていますか。	[User (ユーザー)] ページに電子メール アドレスを入力すると、パスワードを取得できます。これを行うには、ログイン ページで [forgot my password (パスワード紛失)] リンクをクリックします。指示に従って、パスワードを取得してください。
共有へのアクセスに遅延が見られる。	複数のファイルを同時に転送しようとしていませんか?	同時ファイル転送の間は、シェアへのアクセスが遅くなることがあります。
UPnP AV メディア プレーヤーまたはアダプタで LaCie 2big Network 2 に保存されたメディア ファイルを表示できない。	メディア ファイルはパブリック共有に保存されていますか?	UPnP AV デバイスはパブリック共有に保存されているメディア ファイルのみを認識します。パブリック共有に保存されていないファイルには、UPnP デバイスからアクセスできません。

6.4. USB 接続のトラブルシューティング

6.4.1. Mac をご使用の方

問題	質問	解決方法
USB 拡張ポートに接続した USB ドライブ/キーまたは USB プリンタが認識されない。	LaCie silverscreen が USB を介してコンピュータに接続されていますか？	拡張 USB デバイス ポートに接続されたデバイス (ハードディスクまたはプリンタ) は、USB ホスト ポートに USB ケーブルを接続すると自動的にマウントが解除されます。ハード ディスクまたはプリンタをアクセス可能にするには、ディスクをコンピュータから切断し、Ethernet ケーブルを使用してネットワークに接続します。
コンピュータがデバイスを認識しない。	ドライブのアイコンがコンピュータに表示されていますか。	LaCie ドライブのアイコンがデスクトップに表示されているはずです ([Finder] の環境設定で、外付けディスクをデスクトップに表示しないように設定した場合は、表示されません)。デバイスが表示されない場合は、この後に記載されているトラブルシューティングのヒントをすべて読んで、問題を解決してください。
	お使いのコンピュータは、本製品を使用するための最低システム要件を満たしていますか?	詳細は、「1.1. 最小システム要件」のセクションを参照してください。また、使用しているコンピュータを変更してみてください。コンピュータの問題は、コンピュータ自体の問題であることが数多く見られます。コンピュータが正常に稼働しているように見える場合でも、テストする価値はあります。
	ドライブに電源が接続されていますか?	電源が正しく接続されていること (「3.4.2. ステップ 2：ドライブに電源を入れる」のセクションを参照)、および電源を接続したコンセントに正常に通電していることを確認してください。
	USB 接続について正しいインストール方法に従いましたか。	「3.4. USB を経由して共有にアクセスする」のセクションでインストール手順を再度確認してください。
	USB ケーブルの両端がしっかりと取り付けられていますか。	必ず LaCie で提供されている USB ケーブルを使用してください。USB ケーブルの両端を調べ、両端が各ポートに正しく取り付けられていることを確認してください。ケーブルを取り外し、10 秒経ってから再度接続してください。それでもドライブが認識されない場合、コンピュータを再起動して、もう一度接続し直してください。
	その他のデバイス ドライバまたは機能拡張と競合していませんか。	LaCie テクニカル サポートにお問い合わせください。

次のページに続く >>

ドライブにファイルをコピーしようとすると、エラーメッセージが出る。	USB に接続しているときに、ドライブへのコピー中に "Error –50 (エラー –50)" というメッセージが表示されましたか?	2big Network 2 を USB 経由でコンピュータに接続すると、コンピュータにマウントされるドライブの USB 共有が、MS-DOS (FAT32) でフォーマットされます。このフォーマットでは、一部の文字を含むファイル名がコピーできません。コピーされない文字には次のようなものがありますが、これだけには限りません。 ? < > / \ : ファイルとフォルダを調べ、このような文字が使われていないことを確認してください。
4 GB を超えたサイズのファイルをドライブにコピーできません。	USB を介してコンピュータに接続していますか。	2big Network 2 を USB 経由でコンピュータに接続すると、コンピュータにマウントされるドライブの USB 共有が、MS-DOS (FAT32) でフォーマットされます。このフォーマットでは、ファイル サイズは 4 GB に制限されています。 2big Network 2 に 4GB を超えるサイズのファイルを転送するには、USB ケーブルを外し、Ethernet ケーブルを接続します。「3.4.3. USB ケーブルの接続解除」を参照してから、「2. ネットワークへの接続」を参照してください。または、USBShare を HFS+ に再フォーマットすると、さらに大きいファイル サイズが可能になります (「4.11. Dashboard:ドライブの情報」を参照)。
Hi-Speed USB 2.0 を介して接続しても、デバイスの実行速度が速くならない。	デバイスは、コンピュータの標準の USB ポートに接続されていますか。	ドライブがコンピュータの標準の USB ポートに接続されている場合は、この状態は正常です。Hi-Speed USB 2.0 デバイスは Hi-Speed USB 2.0 ポートに接続されたときにのみ、Hi-Speed USB 2.0 のパフォーマンス レベルで動作します。Hi-Speed USB 2.0ポートまたはハブに接続されていない場合は、Hi-Speed USB 2.0 デバイスは遅い USB の転送速度で動作します。詳しくは、「5.1. データ転送の最適化」を参照してください。
	ご使用のコンピュータと OS は、Hi-Speed USB 2.0 に対応していますか。	詳細は、「1.1. 最小システム要件」および「5.1. データ転送の最適化」のセクションを参照してください。
ディスクの容量が、パッケージ記載の容量と異なっている。	ドライブを USB 経由でコンピュータに接続すると、合計容量の一部のみが使用できるようになります。USB 接続では、最大 500GB が割り当てられています (USBShare という名前の共有)。残りの容量は、Ethernet 接続専用になっています。これは変更できます。詳しくは、「4.11. Dashboard:ドライブの情報」を参照してください。	

次のページに続く >>

ディスクで「カチッ」という音がする。	それはソフトウェアによる音ですか? それともハードウェアによる音ですか? ディスクが動作すると、ソフトウェアによる「カチッ」という音がします。ディスクが動作している場合、この音は正常です。ディスクでは、一般に、障害発生前に問題が示されることはないため、ディスクで「カチッ」という音がしても正常に動作しているのであれば不具合を意味するものではありません。ディスクが正常に動作しない場合、考えられる原因は 2 つあります。 ✦ ディスクが破損している可能性があります。この問題は、ディスクを再フォーマットすることで解決できることがあります。 ✦ 外部電源装置または電源ケーブルが原因でディスクに不具合が生じている可能性があります。可能であれば、別の外部電源装置または電源ケーブルを使用してください。 ハードウェアによる「カチッ」という音はわかりやすく、金属と金属とが擦り合うような音がします。このような音は、一般に、物理的な故障があることを示します。このような音が聞こえるようになる前にドライブに衝撃を与えることがなかった場合は、ソフトウェアによる「カチッ」という音であることを検討し、前述のトラブルシューティングを参照してください。

6.4.2. Windows をご使用の方

問題	質問	解決方法
USB 拡張ポートに接続した USB ドライブ/キーまたは USB プリンタが認識されない。	LaCie silverscreen が USB を介してコンピュータに接続されていますか？	拡張 USB デバイス ポートに接続されたデバイス (ハードディスクまたはプリンタ) は、USB ホスト ポートに USB ケーブルを接続すると自動的にマウントが解除されます。ハード ディスクまたはプリンタをアクセス可能にするには、ディスクをコンピュータから切断し、Ethernet ケーブルを使用してネットワークに接続します。
コンピュータがデバイスを認識しない。	お使いのコンピュータの OS では、そのファイル システムがサポートされていますか?	詳しくは、コンピュータのマニュアルを確認し、「6. 2big Network 2 の再フォーマット」を参照してください。
	[マイ コンピュータ] にデバイスのアイコンが表示されていますか。	[マイ コンピュータ] を開き、デバイスのアイコンとそのデバイスに割り当てられているドライブ文字を探します。デバイスが表示されない場合は、この後に記載されているトラブルシューティングのヒントをすべて読んで、問題を解決してください。[マイ コンピュータ] を開き、デバイスのアイコンとそのデバイスに割り当てられているドライブ文字を探します。デバイスが表示されない場合は、この後に記載されているトラブルシューティングのヒントをすべて読んで、問題を解決してください。
	お使いのコンピュータは、本製品を使用するための最低システム要件を満たしていますか?	詳細は、「1.1. 最小システム要件」のセクションを参照してください。また、使用しているコンピュータを変更してみてください。コンピュータの問題は、コンピュータ自体の問題であることが数多く見られます。コンピュータが正常に稼働しているように見える場合でも、テストする価値はあります。
	ドライブに電源が接続されていますか?	電源が正しく接続されていること (「3.4.2. ステップ 2 : ドライブに電源を入れる」のセクションを参照)、および電源を接続したコンセントに正常に通電していることを確認してください。
	USB 接続について正しいインストール方法に従いましたか。	「3.4. USB を経由して共有にアクセスする」のセクションでインストール手順を再度確認してください。
	USB ケーブルの両端がしっかりと取り付けられていますか。	USB ケーブルの両端を調べ、両端が各ポートに正しく取り付けられていることを確認してください。ケーブルを取り外し、10 秒経ってから再度接続してください。それでもドライブが認識されない場合、コンピュータを再起動して、もう一度接続し直してください。
	その他のデバイス ドライバまたは機能拡張と競合していませんか。	LaCie テクニカル サポートにお問い合わせください。

次のページに続く >>

4 GB を超えたサイズのファイルをドライブにコピーできません。	USB を介してコンピュータに接続していますか。	2big Network 2 を USB 経由でコンピュータに接続すると、コンピュータにマウントされるドライブの USB 共有が、MS-DOS (FAT32) でフォーマットされます。このフォーマットでは、ファイル サイズは 4 GB に制限されています。 2big Network 2 に 4GB を超えるサイズのファイルを転送するには、USB ケーブルを外し、Ethernet ケーブルを接続します。「3.4.3. USB ケーブルの接続解除」および「2.2. ステップ 2：Ethernet ケーブルの接続」を参照してください。または、USBShare を NTFS に再フォーマットすると、さらに大きいファイル サイズが可能になります (「4.11. Dashboard:ドライブの情報」を参照)。
	デバイスは、コンピュータの標準の USB ポートに接続されていますか。	ドライブがコンピュータの標準の USB ポートに接続されている場合は、この状態は正常です。Hi-Speed USB 2.0 デバイスは Hi-Speed USB 2.0 ポートに接続されたときにのみ、Hi-Speed USB 2.0 のパフォーマンス レベルで動作します。Hi-Speed USB 2.0ポートまたはハブに接続されていない場合は、Hi-Speed USB 2.0 デバイスは遅い USB の転送速度で動作します。詳しくは、「5.1. データ転送の最適化」を参照してください。
	ご使用のコンピュータと OS は、Hi-Speed USB 2.0 に対応していますか。	詳細は、「1.1. 最小システム要件」および「5.1. データ転送の最適化」のセクションを参照してください。
ディスクの容量が、パッケージ記載の容量と異なっている。	ドライブを USB 経由でコンピュータに接続すると、合計容量の一部のみが使用できるようになります。USB 接続では、最大 500GB が割り当てられています (USBShare という名前の共有)。残りの容量は、Ethernet 接続専用になっています。これは変更できます。詳しくは、「4.11. Dashboard:ドライブの情報」を参照してください。	
ディスクで「カチッ」という音がする。	それはソフトウェアによる音ですか? それともハードウェアによる音ですか? ディスクが動作すると、ソフトウェアによる「カチッ」という音がします。ディスクが動作している場合、この音は正常です。ディスクでは、一般に、障害発生前に問題が示されることはないため、ディスクで「カチッ」という音がしても正常に動作しているのであれば不具合を意味するものではありません。ディスクが正常に動作しない場合、考えられる原因は 2 つあります。 ✦ ディスクが破損している可能性があります。この問題は、ディスクを再フォーマットすることで解決できることがあります。 ✦ 外部電源装置または電源ケーブルが原因でディスクに不具合が生じている可能性があります。可能であれば、別の外部電源装置または電源ケーブルを使用してください。 ハードウェアによる「カチッ」という音はわかりやすく、金属と金属とが擦り合うような音がします。このような音は、一般に、物理的な故障があることを示します。このような音が聞こえるようになる前にドライブに衝撃を与えることがなかった場合は、ソフトウェアによる「カチッ」という音であることを検討し、前述のトラブルシューティングを参照してください。	

7. カスタマ サポートへのお問い合わせ

エレコム株式会社は、日本市場向けのLaCie製品を販売しています。本製品のテクニカルサポートおよび保証期間内の無償修理は、エレコムグループが対応いたします。

テクニカルサポートへお問い合わせになる前に

1. このマニュアルをよくお読みになり、「トラブルシューティング」を再度ご確認ください。
2. 問題点を明確にしてください。可能であればCPU上の外付けデバイスを本製品だけにして、全てのケーブルが正しくしっかりと 取り付けられていることを確認してください。

「トラブルシューティング」のチェックリストに全て目を通し、問題が該当しないかを確認願います。それでも本ドライブが正常に動作しない場合は、下記のURLより窓口をご確認ください。

ラシー　テクニカルサポートセンター
http://www.lacie.jp/support/index.html

情報	確認箇所
1. LaCie ハード ディスクのシリアル番号	デバイス背面のシール、または納品時の梱包箱にあります。
2. Macintosh/PC の機種	**Mac をご使用の方：**メニューバーの Apple アイコンをクリックし、**[この Mac について]** を選択します。 **Windows をご使用の方：[マイ コンピュータ]** を右クリックし、**[プロパティ] > [全般]** を選択します。
3. オペレーティング システムのバージョン番号	
4. プロセッサの速度	
5. コンピュータ メモリ	
6. コンピュータにインストールされている内蔵および　外付け周辺機器のメーカー名とモデル名	**Mac をご使用の方：**Finderメニューバーのアップル アイコンをクリックし、**[この Mac について]** を選択します。**[詳しい情報...]** を選択します。Apple システムプロファイラが起動され、内蔵および外付け周辺機器がリストアップされます。 **Windows をご使用の方： [マイ コンピュータ]** を右クリックし、**[プロパティ] > [ハードウェア]**

7.1. LaCie テクニカル サポートの連絡先

LaCie アジア http://www.lacie.com/cn/contact/	LaCie オーストラリア http://www.lacie.com/au/contact/
LaCie ベルギー http://www.lacie.com/be/contact/ (オランダ語) http://www.lacie.com/befr/contact/ (フランス語)	LaCie ブラジル http://www.lacie.com/us/contact/
LaCie カナダ http://www.lacie.com/ca/contact/ (英語) http://www.lacie.com/cafr/contact/ (フランス語)	LaCie デンマーク http://www.lacie.com/dk/contact/
LaCie フィンランド http://www.lacie.com/fi/contact/	LaCie フランス http://www.lacie.com/fr/contact/
LaCie ドイツ http://www.lacie.com/de/contact/	LaCie アイルランド http://www.lacie.com/ie/contact/
LaCie イタリア http://www.lacie.com/it/contact/	LaCie 韓国 http://www.lacie.com/kr/contact/
LaCie 中南米 http://www.lacie.com/la/contact/	LaCie オランダ http://www.lacie.com/nl/contact/
LaCie ノルウェー http://www.lacie.com/no/contact/	LaCie ポルトガル http://www.lacie.com/pt/contact/
LaCie シンガポール http://www.lacie.com/asia/contact/	LaCie 東南アジア http://www.lacie.com/sea/contact/
LaCie スペイン http://www.lacie.com/es/contact/	LaCie スウェーデン http://www.lacie.com/se/contact/
LaCie スイス http://www.lacie.com/ch/contact/ (ドイツ語) http://www.lacie.com/chfr/contact/ (フランス語) http://www.lacie.com/chit/contact/ (イタリア語)	LaCie 英国 http://www.lacie.com/uk/contact/
LaCie アメリカ合衆国 http://www.lacie.com/us/contact/ (英語) http://www.lacie.com/uses/contact/ (スペイン語)	LaCie グランド エキスポート http://www.lacie.com/intl/contact/

8. 保証について

エレコム株式会社は、日本市場向けのLaCie製品を販売しています。本製品のテクニカルサポートおよび保証期間内の無償修理は、エレコムグループが対応いたします。

■保証内容

1. 弊社が定める保証期間（本製品ご購入日から起算されます）内に適切な使用環境で発生した本製品の故障に限り、

   無償で本製品を修理または同等製品への交換をいたします。

■無償保証範囲

2. 以下の場合には、保証対象外となります。
   (1) 保証書および故障した本製品をご提出いただけない場合。
   (2) 保証書に販売店ならびに購入年月日の記載がない場合、または本製品のご購入日が確認できる証明書（レシート・納品書など）をご提示いただけない場合。
   (3) 保証書に偽造・改変などが認められた場合。
   (4) 弊社及び弊社が指定する機関以外の第三者ならびにお客様による本製品の改造、分解、修理がおこなわれている場合。
   (5) 弊社が定める機器以外に接続、または組み込んで使用し、故障または破損した場合。
   (6) 通常一般家庭内で想定される使用環境の範囲を超える温度、湿度、振動等により故障した場合。
   (7) 本製品をご購入いただいた後の輸送中に発生した衝撃、落下などにより故障した場合。
   (8) 地震、火災、落雷、風水害、その他の天変地異、公害、異常電圧などの外的要因により故障した場合。
   (9) その他、無償修理または交換が認められない合理的な事由が発見された場合。
   (10) 本製品を日本国外でご購入された場合。

■修理

3. 修理のご依頼は、保証書を本製品に添えて、お買い上げの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターに送付してください。
4. 弊社修理センターへご送付いただく場合の送料はお客様のご負担となります。また、ご送付いただく際、適切な梱包の上、紛失防止のため受渡の確認できる手段（宅配や簡易書留など）をご利用ください。なお、弊社は運送中の製品の破損、紛失 については一切の責任を負いかねます。
5. 修理・もしくは同機種での交換ができない場合は、保証対象製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換させていただく場合があります。
6. 有償、無償にかかわらず修理等により交換された本製品またはその部品等は返却いたしかねます。
7. 記憶メディア・ストレージ製品において、弊社修理センターにてドライブ交換、製品交換を実施した際には、データの保全は行わず全て初期化いたします。記憶メディア・ストレージ製品を修理に出す前には、お客様ご自身でデータのバックアップを取っていただきますようお願いいたします。
8. 故障とは、本製品が本製品の仕様に定める通りに機能しないことを指します。外観損傷（本製品の傷や破損）については保証対象外となりますので、外観損傷に対する修理・修繕は行いません。

■免責事項

9. 本製品の故障について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の債務不履行及び不法行為等の損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
10. 本製品の故障に起因する派生的、付随的、間接的および精神的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償・復旧等につきましては、弊社は一切責任を負いかねます。

■有効範囲

11. 保証書は、日本国内においてのみ有効です。保証書は再発行しませんので、大切に保管してください。また、海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証もいたしません。日本国外ではその国の法律・規制により使用ができない、もしくは罰せられることがありますが、弊社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。

重要な情報: 保証に関するご不明点は、弊社テクニカルサポートセンターまでお問い合わせください

サポートURL
http://www.lacie.jp/support/index.html